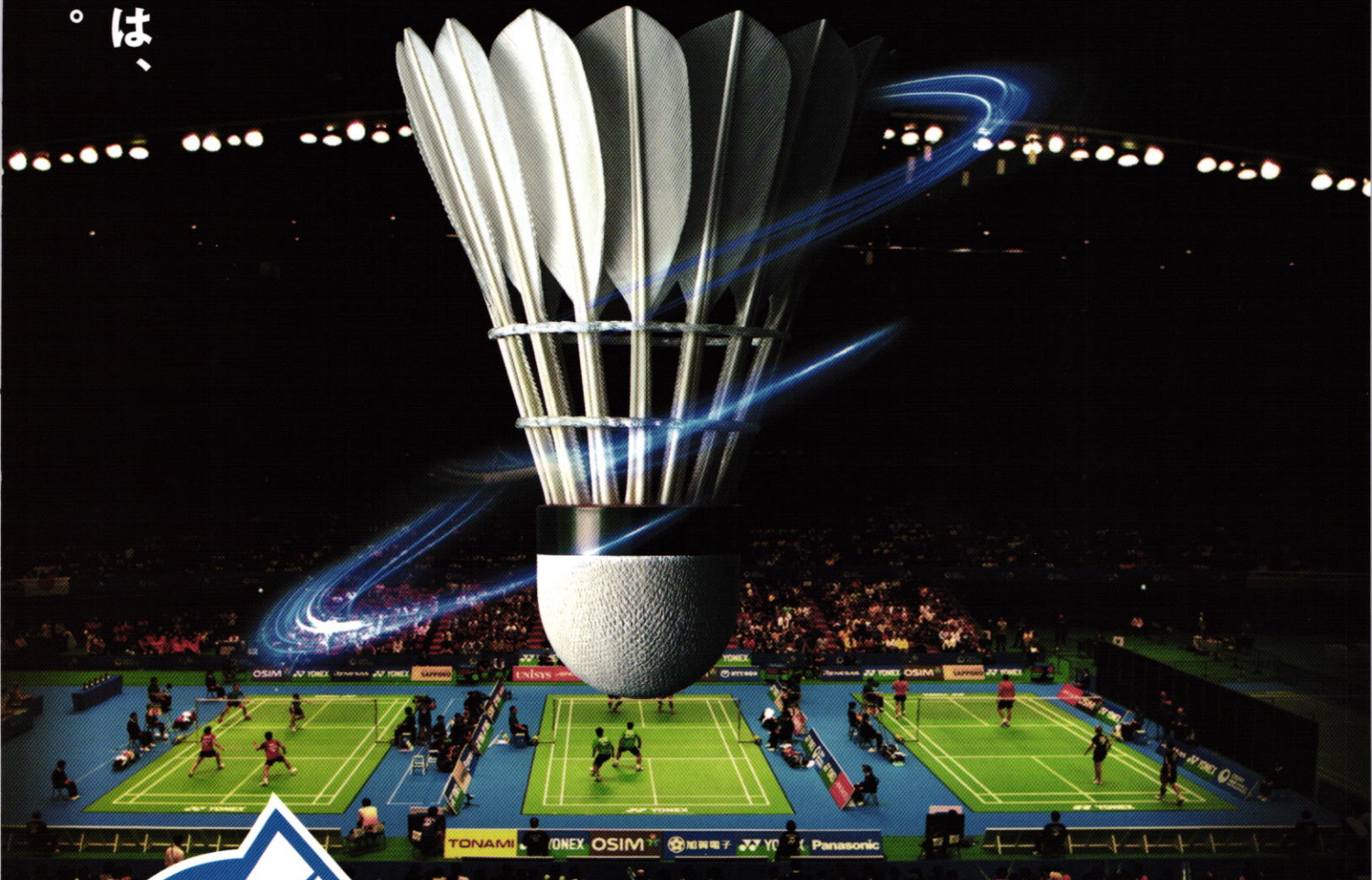
新世代の幕開けは、
代々木で始まる。

OSIM
BWF WORLD
SUPERSERIES



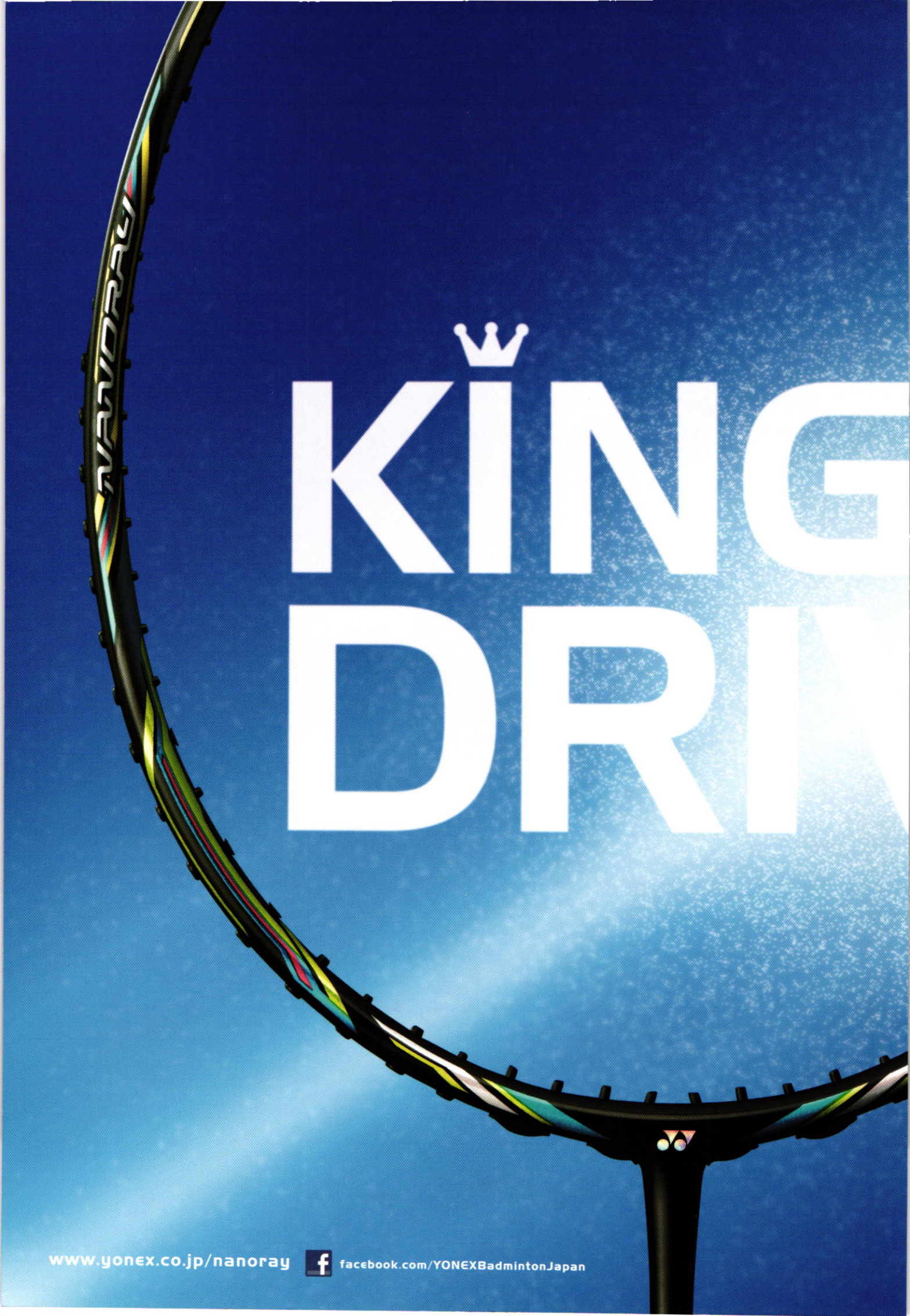
YONEX OPEN JAPAN 2012

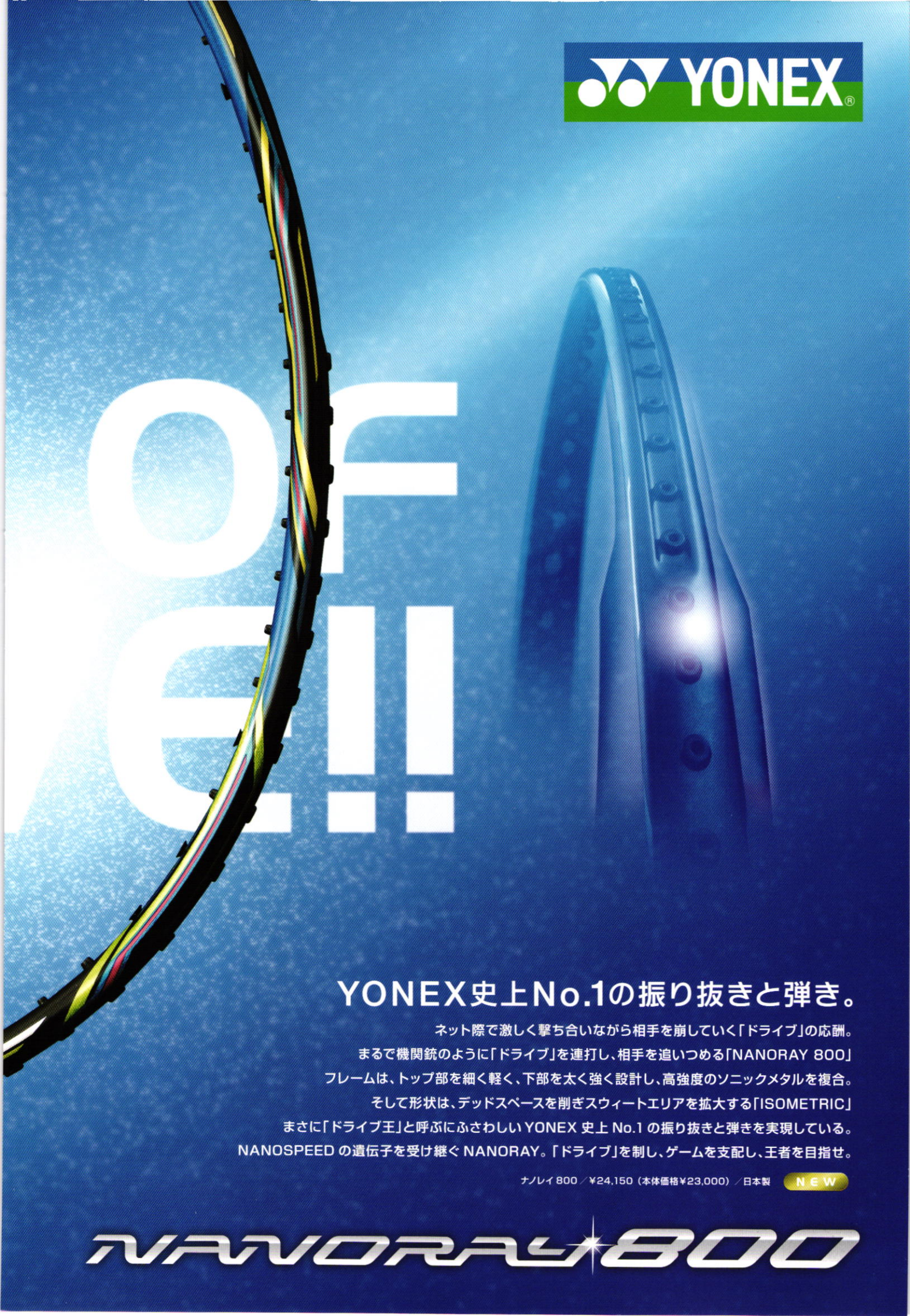
第31回ヨネックスオープンジャパン

PART OF THE OSIM BWF WORLD SUPERSERIES

YONEX　OSIM　AJINOMOTO.　RENESAS

NTT東日本　UNISYS　加賀電子グループ


NANORAY
KING
DRI
www.yonex.co.jp/nanoray
facebook.com/YONEXBadmintonJapan


YONEX
Off!!
YONEX史上No.1の振り抜きと弾き。
ネット際で激しく撃ち合いながら相手を崩していく「ドライブ」の応酬。
まるで機関銃のように「ドライブ」を連打し、相手を追いつめる「NANORAY 800」
フレームは、トップ部を細く軽く、下部を太く強く設計し、高強度のソニックメタルを複合。
そして形状は、デッドスペースを削ぎスウィートエリアを拡大する「ISOMETRIC」
まさに「ドライブ王」と呼ぶにふさわしいYONEX 史上 No.1 の振り抜きと弾きを実現している。
NANOSPEED の遺伝子を受け継ぐ NANORAY。「ドライブ」を制し、ゲームを支配し、王者を目指せ。
ナノレイ 800 ／ ¥24,150（本体価格¥23,000）／日本製
NEW
NANORAY 800

OSIM AsiaNo.1

ついに実現。

世界で最も売れているマッサージ チェアと電話で
最高のマッサージとくつろぎの時間を



OSIM uDivine App

uDivine App

Available on the App Store

Made for iPod iPhone iPad

OSIM uDivine App
マッサージ チェア
iPhone® と連携



OSIM
Inspiring well-being

世界初：マッサージとモバイル アプリ テクノロジーのフュージョンを実現

uDivine App は専属のマッサージ アドバイザのように最適なマッサージをアドバイスします。心地よいマッサージにより心も身体もリラックス。



uDivine App マッサージ チェアの新エディションは Bluetooth に対応。ヒューマン 3D マッサージ プログラムを新たに追加し、色はライフスタイルに合わせて 2 種類のカラーをご用意。



Apple、iPad、iPhone、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
App Store は、Apple Inc. のサービス マークです。

「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とは、iPod、iPhone および iPad 専用に接続するよう設計され、Apple が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示しています。Apple は、この機器の操作または安全基準および規制基準への準拠に関して、一切の責任を負いません。また、このアクセサリは、iPod、iPhone、iPad と使用すると、ワイヤレスパフォーマンスに影響する場合があります。

iPod touch (第 4 世代)、iPod touch (第 3 世代)、iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPad (第 3 世代)、iPad 2 および iPad 対応。

ANDROID APP ON Google play

Android バージョン 4.0.3 以上が動作する一部のスマートフォン モデルにも対応。

詳しい情報をご希望の方は、当社のカスタマーサービスホットライン（電話（シンガポール）：(65) 6747 6866）までお問い合わせいただくか、www.OSIM.com/uDivineApp をご覧ください。また、左の QR コードからも情報をご覧いただけます。

OSIM グローバルネットワーク
シンガポール • 中国 • 香港 • マレーシア • 台湾 • オーストラリア • バーレーン • ブルネイ • カンボジア • カナダ • インド • インドネシア • イラン • 日本 • クウェート • マカオ • モーリシャス
モンゴル • ミャンマー • ニュージーランド • パキスタン • フィリピン • カタール • 大韓民国 • スリランカ • タイ • アラブ首長国連邦 • 英国 • アメリカ合衆国 • ベトナム

SCHEDULE

9月18日(火)	◆各種目予選	12:00開場／13:00開始
9月19日(水)	◆各種目1回戦	9:00開場／10:00開始
9月20日(木)	◆各種目2回戦	9:00開場／10:00開始
9月21日(金)	◆各種目準々決勝	9:00開場／10:00開始
9月22日(土・祝)	◆各種目準決勝	10:00開場／12:00開始
9月23日(日)	◆各種目決勝	10:00開場／12:00開始

※開場・開始時間は変更になる場合があります

VENUE

東京都渋谷区　国立代々木競技場第一体育館

TV放映

NHK-BS1	9月22日(土)	25:00～26:50	準決勝
	9月23日(日)	19:00～20:50	決勝
J SPORTS 1	9月20日(木)	21:00～23:30	
	9月21日(金)	21:00～24:45	
	9月24日(月)	15:00～17:30	
	9月25日(火)	18:00～20:30	
	9月26日(水)	14:00～17:30	
J SPORTS 2	9月19日(水)	19:30～23:00	
	9月22日(土)	9:00～11:30	
J SPORTS 3	9月23日(日)	9:00～12:30	

＊放映日時は変更になる場合があります

賞金

賞金総額 US $200,000

Men's singles 男子シングルス

優勝	$15,000				
準優勝	$7,600				
3位	$2,900	5位	$1,200	9位	$700

Women's singles 女子シングルス

優勝	$15,000				
準優勝	$7,600				
3位	$2,900	5位	$1,200	9位	$700

Men's doubles 男子ダブルス

優勝	$15,800				
準優勝	$7,600				
3位	$2,800	5位	$1,450	9位	$750

Women's doubles 女子ダブルス

優勝	$15,800				
準優勝	$7,600				
3位	$2,800	5位	$1,450	9位	$750

Mixed doubles 混合ダブルス

優勝	$15,800				
準優勝	$7,600				
3位	$2,800	5位	$1,450	9位	$750

主催

主　催：公益財団法人日本バドミントン協会(NBA)
公　認：世界バドミントン連盟(BWF)
主　管：東京都バドミントン協会
後　援：東京都
冠協賛：ヨネックス株式会社
　　Superseries Global Sponsor:OSIM
協　賛：味の素株式会社
　　ルネサスエレクトロニクス株式会社
　　東日本電信電話株式会社
　　日本ユニシス株式会社
　　加賀電子株式会社
　　サッポロビール株式会社
協　力：トナミ運輸株式会社
　　株式会社クレディセゾン
　　株式会社エムアイジェイ
　　株式会社ホテルオークラ東京
　　株式会社協栄
　　ナガセケンコー株式会社
　　日本バドミントン専門店会
　　株式会社ラケットショップフジ
オフィシャルシャトルコック：ヨネックス「トーナメント」
オフィシャルコート：ヨネックスコート
大会プログラム制作：ベースボール・マガジン社　バドミントン・マガジン編集部

YONEX OPEN JAPAN 2012
第31回ヨネックスオープンジャパン

http://www.yonexopenjp.com



Contents もくじ

07_ Messages
ご挨拶

12_ Special story
幸運の先に——
藤井瑞希＆垣岩令佳

16_ Reviews of London
熱く燃えた聖地の火

19_ Preview
大会総展望

21_ Heroes of London
ロンドン五輪メダリスト紹介
リー・チョンウェイ／譚龍／傅海峰＆蔡贇
ボー＆モゲンセン

26_ Japan be ambitious
ロンドン五輪出場日本選手紹介
佐々木翔／田児賢一／佐藤翔治＆川前直樹
末綱聡子＆前田美順／池田信太郎＆潮田玲子

30_ Star of hope ran a new generation!
若手注目選手
桃田賢斗／奥原希望／ラトチャノク・インタノン
ヴィクター・アクセルセン／戴資穎

33_ Get to the Top
海外注目選手紹介
タウフィック・ヒダヤット／シモン・サントソ／ヤン・ヨルゲンセン
グエン・ティエンミン／ブーンサック・ポンサナ
イサラ＆ジョングジット／ティーネ・バウン／王適嫻／成池鉉
包宜鑫＆鐘倩欣／潘楽恩＆謝影雪

38_ Japan Spirits
日本注目選手紹介
上田拓馬／平田典靖＆橋本博且／早川賢一＆遠藤大由
園田啓悟＆嘉村健士／廣瀬栄理子／後藤愛
松尾静香＆内藤真実／髙橋礼華＆松友美佐紀

42_ Final Game
コートを去りゆくとき——。
ピーター・ゲード／潮田玲子

47_ List of Competitors
出場予定選手

49_ Officers
大会役員

50_ List of Winners
歴代優勝者

© ベースボール・マガジン社2012
本誌掲載の記事、写真の無断転載および複写を禁じます

Smart to the Core

スマート社会の未来を担う、ルネサス エレクトロニクスの半導体。

今、世界中に拡がろうとしているスマート社会。
それを築くためにはインフラ、システム、機器、そして何より人々が、
安心、安全につながる環境を整えることが求められています。
そして、そのスマート社会のコアを支えているのがルネサス エレクトロニクスの半導体。
高性能・低消費電力のマイコン、アナログ＆パワーデバイスをはじめとする
多彩なソリューションを通して、モノとモノをつなぎ、人々をつなぐことで、
さらにスマートな社会の実現に貢献していきます。

スマート関連機器の早期開発を実現する
多彩なソリューションを用意しています。

japan.renesas.com/smart/



ルネサス エレクトロニクス株式会社　〒100-0004　東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル）

RENESAS

ご挨拶 Messages

ヨネックスオープンジャパン2012に寄せて



世界バドミントン連盟
会長

姜榮中
カン・ヨンジュン

東京へようこそ。

ヨネックスオープンジャパン2012はＯＳＩＭワールドスーパーシリーズの第８節に位置づけられております。選手の皆様はスーパーシリーズ中断後の大会ということもあり、試合を待ち望んでいることでしょう。

先月行なわれましたロンドンオリンピックの優勝者の皆様に、この場をお借りして心より祝福を申し上げ、そして出場選手、各国役員、大会運営委員、ならびにボランティアの皆様に深く御礼申し上げたいと思います。

日本は昨年の世界選手権参加国のなかで最も多く選手を派遣したチームのひとつであり、ロンドンオリンピックでも多くの選手が日本を代表し活躍されました。また、今年のアジアユースＵ19においては団体戦でみごとに優勝し、これも日本バドミントン協会の皆様の競技発展への惜しみない努力と決意の賜ります。

世界バドミントン連盟（ＢＷＦ）の加盟国である日本バドミントン協会は、我々ＢＷＦにつねに協力していただいており、深く感謝しております。そして、2012世界ジュニア選手権を来月、日本で開催することは私たちの強いパートナーシップの証だと思います。

また、2013年世界選手権の出場権をかけた予選レースはすでに始まっており、世界トップ選手が東京での世界ランキングポイント獲得に向けて激戦を繰り広げることを期待しております。

冠スポンサーのヨネックスの皆様の長年にわたる揺るぎない協力に心より感謝申し上げ、また今後も引き続き、多大な協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、縁の下の力持ちである運営委員会、ボランティアそして役員の皆さまに深く感謝申し上げます。

最後に、選手の皆様のご健闘をお祈りいたします。

Welcome to Tokyo !

The YONEX OPEN JAPAN 2012, part of the OSIM BWF World Superseries, is the eighth leg of the circuit, and I am sure that the players are raring to go after a short break in the Superseries calendar.

I would also like to take this opportunity to congratulate all the winners and record my gratitude to all the players, officials, organising committee and volunteers who participated in the Olympic Games in London last month.

Japan had one of the largest contingents in the World Championships last year and was well represented at the recent London Olympics as well. They also did well in winning the 2012 Asian Youth U19 Badminton Championships team title this year and it shows the commitment and determination to improve the sport in Japan.

As an affiliate of the Badminton World Federation, Nippon Badminton Association has always been supportive of our programmes and the BWF is deeply appreciative of this support and the hosting of the 2012 BWF World Junior Championships for the Suhandinata Cup and Enopi Cups next month are testimony to the strong partnership between Nippon BA and the BWF.

I expect a strong field of players competing for honours especially as the qualifying period for the 2013 World Championships has already begun and thus players will be looking to gain some valuable points here in Tokyo.

Furthermore, the race is also on to qualify for the season ending BWF World Superseries Finals in December this year.

To the title sponsors, YONEX, I would like to express my heartfelt thanks for their unwavering support through the years and hope for their continued support in the future.

To the organisers, volunteers and officials, a big thank you as well as you are the unsung heroes of the tournament.

To the players, may the best man win !

DR KANG Young Joong
President, Badminton World Federation





公益財団法人
日本バドミントン協会
会長

綿貫民輔

第31回目を迎えるヨネックスオープンジャパン2012 ＯＳＩＭ ＢＷＦワールドスーパーシリーズが東京の国立代々木競技場第一体育館で盛大に開催できますことは、本会関係者全員の大きなよろこびとするところであります。

今年は７月にバドミントン発祥の地でロンドンオリンピックが開催され、そこで熱戦を繰り広げた選手たちが、一同に東京へ集結され再び覇権を奪い合うと同時に、新世代の登竜門としての挑戦が大変興味深いところです。そして、４年後の2016年リオデジャネイロオリンピックで活躍が期待される次世代を担う若きチャンピオンの挑戦も見逃せません。

東京都は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの招致活動を展開しているなか、わが国のジュニアＵ19選手が、「2012アジアユースＵ19バドミントン選手権大会」の団体戦決勝で中国を３－０で破り、初優勝という快挙を成し遂げました。男子シングルスの桃田賢斗選手が田児賢一選手以来の優勝を成し遂げて、日本の「一貫指導システム」の成果もありジュニア選手の海外での活躍が聞けるようになりました。

また、５月には中国で２年に一度開催される男女国別団体戦トマス杯／ユーバー杯で、男女とも２大会連続の銅メダルを獲得する快挙を成し遂げています。これからも本会としては、国際大会を通じてさらなる競技力向上をはかり、目標であるオリンピックでのメダル獲得を実現すべく、努力していく所存であります。

今回のロンドンオリンピック選考で惜しくも檜舞台を逃がしたナショナルチームの選手たちも出場しますが、ロンドンを経験した選手との力に大きな差はありません。男子ダブルスの平田／橋本組、早川／遠藤組、男子シングルスの上田拓馬選手、桃田賢斗選手、女子ダブルスでは髙橋／松友組、松尾／内藤組、そして女子シングルスの廣瀬栄理子選手、三谷美菜津選手、奥原希望選手らが、海外での過酷な大会に挑戦した実績を糧に虎視眈々と栄光をめざして力を発揮され、本大会で活躍されることを期待しています。

また、世界各国の選手・役員の皆様とさらなる友好を深め、スポーツマン精神と情熱の限りを尽くして熱戦を展開されることを望みます。

観客の皆様には、世界のトッププレーヤーの超人的な熱い戦いを観戦いただき、夢と希望と感動を再び代々木体育館で味わってほしいと思います。

終わりに、本大会開催に当たりまして多大なるご支援、ご尽力をいただきましたＢＷＦ、東京都の関係各位、協力企業関係者各位に心から感謝申し上げましてご挨拶といたします。

It is the greatest pleasure for us to be able to hold the 31st YONEX OPEN JAPAN 2012 in grand scale at Yoyogi National Gymnasium.In July this year, the London Olympic Games was held in the birthplace of badminton, and the players which held a who competed the heated game matches will be gathered to Tokyo again for the next hegemony. It is a also also a very interesting as this tournament would be the stepping-stone of for the new generation. Do not miss the challenge of the young champions which is who are expected to success succeed in Rio de Janeiro 2016 Olympic Games four 4 years later.

While Tokyo Metropolitan Government, have has deployed in the bidding activities of to host the Olympic and Paralympic Games in Tokyo in 2020, U19 junior players of our country has have achieved the first victory against China 3-0 in the final game in the team competition of event of the "2012 Asian Youth U19 Badminton Championships." Men`s singles player, Kento Momota, of the have has achieved his first victory since Kenichi Tago as a results of the "consistent guidance training system", and it is now to hear the success of junior players abroad in Japan.

In addition, in the Thomas & Uber Cup (Men and Women World Team competition Championships by country which is held once every two years) which was held in May at in China, Japanese Teams has have achieved the feat to win a bronze medals in two consecutive tournaments times for both men and women. Our goal is to win a medal at the Olympic, thus we will continue to strive through international competitions to improve our competition power level of competitiveness.

There is no overwhelming difference between the national team players which missed to get on the stage of London Olympic in a narrow margin, such as Men`s Doubles Hirata／Hashimoto pair and Hayakawa／Endo pair, Men`s Singles Takuma Ueda and Kento Momota, Women`s Doubles Takahashi／Matsutomo pair and Matsuo／Naito pair, Women`s Singles Eriko Hirose, Minatsu Mitani and Nozomi Okuhara. We hope these players can demonstrate their skills, based on the experience of their challenge in the harsh international competitions in foreign countries, to aim the glory steadily.

Finally, I would like to express my sincere appreciation for BWF, members of Tokyo Metropolitan Badminton Association, the supporting companies who have devoted themselves to make this tournament a success.

In addition, we hope all the officers and athletes from around the world deepen their friendship and hope heated matches will be held by the passion and sportsmanship of the participants.

WATANUKI Tamisuke
President, Nippon Badminton Association (NBA)





東京都知事

石原慎太郎

このたび、「第31回ヨネックスオープンジャパン2012 ＯＳＩＭ ＢＷＦワールドスーパーシリーズ」が、海外及び国内各地から選手並びに役員の皆様をお迎えして、首都東京において盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。あわせて、お集まりの皆様を都民を代表して心から歓迎いたします。

本大会は、世界バドミントン連盟が開催するスーパーシリーズのひとつであり、世界トップレベルの選手たちが競いあう国際大会であると伺っております。選手の皆様には、ハイレベルな技と、闘志溢れるプレーにより最高の試合を展開されるよう期待しています。また、本大会の開催が、バドミントン競技のより一層の普及・発展につながるとともに、大会を通じて、国を超えた友好や絆をさらに深めていただければ幸いです。

さて、東京都は、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会の開催実現に向け、国をはじめ、経済界、ＪＯＣ・スポーツ界など、オールジャパンの体制で招致活動を展開しています。スポーツの持つ力を信じ、日本だけでなく、世界の国々を元気にしていきたいと思います。

結びに、本大会の開催に御尽力された関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、本大会の御成功を祈念して挨拶といたします。

It gives me great pleasure to have the YONEX OPEN JAPAN 2012 BWF Superseries tournament held in Tokyo again on such a grand scale. On behalf of the people of Tokyo, I would like to extend a heartfelt welcome to all of the athletes and officials who have gathered here from Japan and around the world.

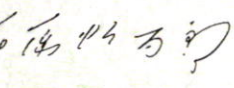
As part of the OSIM BWF World Superseries, it is my understanding that top-level athletes from around the world will compete against each other in this exciting tournament. I look forward to the high level of skill and aggressive style of play to be shown by the athletes, providing for thrilling matches. I hope that this event will lead to even greater popularization of the sport of Badminton, while further strengthening friendly ties that extend beyond national boundaries.

Tokyo, in its bid to host the 2020 Olympic and Paralympic Games, is working together in a unified effort with the national government, business sector, Japan Olympic Committee (JOC) , members of the sports world, and many others to realize this goal.

Believing in the positive power of sports, we hope to lift the spirits of not only Japan, but of countries all over the globe.

In closing, I would like to express my deep respect to those who worked so hard to organize this event, and extend my best wishes for the success of the tournament.

ISHIHARA Shintaro
Governor of Tokyo



ICTが人と社会にできること。



いまICTは、電気やガス・水道などのライフライン、
交通や通信サービスに代表される社会基盤を支え、
私たちの暮らしに欠かせない様々な役割を担っています。

日本ユニシスグループは、川畠成道さんの音楽性と
医療・福祉・教育分野における精力的な活動に共感し、
1998年のデビュー時から応援しています。

お客さまとともに、人と社会のために、そして地球環境のために。
日本ユニシスグループはチャレンジし続けます。

UNISYS

日本ユニシス株式会社　http://www.unisys.co.jp

Messages

ご挨拶 ヨネックスオープンジャパン2012に寄せて



東京都
バドミントン協会
会長

浅岡　武

第31回ヨネックスオープンジャパン2012がBWFワールドスーパーシリーズとして6回目を迎え、国立代々木競技場第一体育館で盛大に開催されますことは大変よろこばしいことであります。選手、役員、皆様方の来日を心より歓迎いたします。

本年は7月にロンドンオリンピックが開催された直後の大会でバドミントン熱が最高潮に達しているなか、白熱した好プレーを展開して我々に感動を与えてくれることを期待しております。

昨年のヨネックスオープンジャパン2011で、男子シングルス田児賢一選手が5位、女子ダブルス藤井・垣岩組が3位、松尾・内藤組が5位、混合ダブルスの佐藤・松尾組が5位に入賞しました。今回のヨネックスオープンジャパン2012において、これら好成績をあげた選手たちをはじめ、オリンピック出場選手と国内の選手が前大会以上の活躍されることを期待しております。

ロンドンオリンピックで見事栄誉を勝ち獲ったメダリストを迎え、よりハイレベルな戦いになるこの大会は、例年以上の熱戦になることでしょう。

皆様の応援で世界最高のこの大会を力いっぱい盛り上げてください、本年も多くの選手がエントリーしております。このような白熱する大会を皆様とともに観戦することができますことは大変よろこばしく思います。日本のバドミントン普及発展がさらに大きく躍動することを確信いたします。

本大会で役員、選手の皆様がバドミントンを通して国際親善とさらなる交流の輪を広げていただき、また選手の皆様には日ごろの練習の成果を十分に発揮して熱戦を展開されること期待しております。

最後に、本大会開催にあたりご尽力いただいた関係各位に対して心より感謝を申し上げ、歓迎の挨拶といたします。

It is our great pleasure that this 31st YONEX OPEN JAPAN 2012 as the 6th BWF world series is held in grand scale in Yoyogi National Gymnasium.
We heartily welcome the players and the staffs who take part in the tournament, and all of you who visited Japan.
This year, is the tournament is held immediately after the London Olympics have been held in July. Therefore the badminton heat has reached to crescendo, and we hope that the players can show us an impressive good game performance.
In the previous YONEX OPEN JAPAN 2011, the following players has won a prize reached good results : Men's Singles Kenichi Tago in 5th, Women's Doubles Fujii ／ Kakiiwa pair in 3rd, Women's Doubles Matsuo ／ Naito pair in 5th, Mixed Doubles Sato ／ Matsuo pair in 5th.
We hope that not only these successful players but, the Olympic players and the domestic players can make more progress than the previous tournament.
The tournament will be heated up more than usual as the honorable medalists from London Olympics come to participate in our event.
To the visiting badminton fans, please enliven this event the world level of tournament with your great cheering. There are many players participating in the tournament this year as well.
I'm looking forward to watch the exciting matches with the audience, and we are confident that badminton can become more and more popular in Japan.
We are glad if all the staffs and the players make international interchanges friendship between participants through this tournament and expect each players to show the result of the training, and to play an exciting match.
Finally, we would like to appreciate the members who cooperated with the holding of this tournament.

ASAOKA Takeshi
President, Tokyo Metropolitan Badminton Association





ヨネックス株式会社
代表取締役社長

米山　勉

今大会で31回目の開催となるヨネックスオープンジャパンを、今年もまた盛大に開催できますことを、冠スポンサーとして非常に光栄に思います。本大会は世界各国のトップ選手が集い、日頃鍛練した技術を競い合うことから、長きにわたる大会史のなかで数々の名勝負が生まれております。今年は、8月のロンドンオリンピックで熱い戦いを繰り広げた選手たちが、その舞台を東京に移し、心が躍る名勝負を生みだしてくれることでしょう。また、次の世代を担う若手選手たちがより一層ヒートアップした戦いを展開し、我々を魅了してくれるものと期待しております。

日本におきましては、日本人選手の国際大会での活躍が引き金となり、競技人口も増大の傾向にあり、バドミントン競技が活況を呈してまいりました。その日本で開催される本大会の出場選手たちのプレーが、子どもたちに夢と希望と憧れを与え、日本のバドミントン競技をさらに強化・発展させてくれるものと、私は信じております。

弊社は、今大会をはじめ世界各国の大会に協賛しております。このような活動を通じ、バドミントンの魅力、素晴らしさを世界中の皆様にお伝えすることで、微力ながらも競技の普及発展に貢献してまいりたいと存じます。また、「ヨネックスの国籍は世界」のスローガンのもと、世界の皆様に愛されるグローバルブランドになれるよう努めてまいります。

結びとなりますが、大会開催に際しご尽力を賜りました国際バドミントン連盟、日本バドミントン協会、東京都バドミントン協会並びに関係各位、ご協賛の各社に心から敬意を表し、また大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念し、ごあいさつの言葉とさせていただきます。

Firstly I should like to extend my warmest welcome to each one of you to the 31st YONEX OPEN JAPAN. It is my great pleasure that we are again the title sponsors of this prestigious tournament which is getting bigger and better every year. Since the tournament first started, the world's elite players have provided us with numerous memorable matches. I am sure this year will be no exception with the medal winners from the London 2012 Olympics reproducing their winning performances. I am confident that the champions of tomorrow will battle hard in their matches and give us a glimpse of their future potential.
It is magnificent to see the sport of badminton growing globally in such a positive way. This is I believe a direct result of the numerous winners from many different countries around the world inspiring people to take up the game. I believe strongly that those performing at the elite level play a huge part in this overall success and are an inspiration to the next generation of badminton stars.
Our commitment to the sport is integral to our company's beliefs and culture ; we continue to show our dedication and support by sponsoring many of the world's major tournaments. YONEX is always trying to contribute towards the popularity of badminton, expressed in the YONEX mission statement. "To contribute to the development of the world's social culture through sport and to surprise and delight our customers". We shall continue to dedicate our creativity and resources to be a brand loved and admired by people all over the world.
Finally, I would like to express my sincere appreciation to all those involved who have been working tirelessly towards the success of this tournament. Especially, the Badminton World Federation, the Nippon Badminton Association, members of Tokyo Metropolitan Badminton Association and other supporting sponsors. I would like to wish great prosperity to the tournament and the players' every success.

YONEYAMA Ben
President, Yonex Co., Ltd,





お家もオフィスもALSOKで安心。

ホームセキュリティX7（エックスセブン）

敷地内の外周を、徹底監視。
外出先から携帯電話で画像を確認できます。

ALSOK-GV（ジーファイブ）

画像センサー搭載で、オフィスを365日24時間監視。
暗闇でも不審者を逃しません。

ALways Security OK

ALSOK

セキュリティのお申し込みに関するお問い合わせ
☎ 0120-39-2413（年中無休・24時間受付）

ALSOK　検索

ご挨拶 ヨネックスオープンジャパン2012に寄せて

Messages



OSIMインターナショナル
創立者、会長、
最高経営責任者

ロン・シム

私たちＯＳＩＭインターナショナルは、世界バドミントン連盟（ＢＷＦ）とともにＯＳＩＭ ＢＷＦワールドスーパーシリーズのひとつであるヨネックスオープンジャパンを、皆様にお届けできることを大変うれしく思います。

今年で31年目を迎えるヨネックスオープンジャパンはスーパーシリーズの８節目となります。ファンの皆様はホームで佐々木翔選手や田児賢一選手、末綱聡子／前田美順組などの日本のトップ選手たちが、世界のトップ選手と栄誉と賞金を争い闘う、身震いするようなプレーをご覧いただけることでしょう。

ヘルシーライフスタイルを提供するブランドの世界的リーダーとして、ＯＳＩＭは人生に前向きな姿勢を提案することで皆様に幸福と健康的なライフスタイルを提供できるように日々努力しております。スポーツスポンサーシップによって、このようなメッセージを皆様にお届けすることが可能になりました。そのため、ＯＳＩＭは長年にわたり皆様に支持されており、また、北京、香港、シンガポールでトライアスロンなどのスポーツイベントを後援し、現在ではグローバルなバドミントンの普及の役割を担うことができることを光栄に思っています。

ＯＳＩＭには「最善を尽くすために挑戦し続ける」という哲学を掲げており、これはスポーツ、ビジネス、また人生にも同様に適用できます。ＯＳＩＭ ＢＷＦワールドスーパーシリーズのスポンサーとして、栄光に到達するために戦う世界トップ選手たちのように自分自身を磨いていけるよう願います。また、この大会が若い世代の選手たちがスポーツのみだけではなく、人生においても優秀になれるよう、よい刺激になることを望みます。もちろん、今週、観戦される皆様のなかから未来のトッププレーヤーが必ず現れることでしょう。

私はバドミントンがＯＳＩＭ ＢＷＦワールドスーパーシリーズによりレベルアップすると確信しております。また運営委員、選手そして観客の皆様が楽しんでいただける大会になることを望んでおります。

We at OSIM International are pleased and privileged to join hands with the Badminton World Federation in bringing you the 2012 YONEX OPEN JAPAN, part of the OSIM BWF World Superseries.

Now on its 31st year, YONEX OPEN JAPAN is the 8th stop of this year's Superseries circuit. Fans can look forward to thrilling action from Japan's best shuttlers Sho Sasaki, Kenichi Tago, Miyuki Maeda and Satoko Suetsuna, as they battle it out with other world-class players to win top honor and prize money in their home country.

As the global leader in branded healthy lifestyle products, OSIM seeks to inspire well-being, bringing a healthy lifestyle to people, by promoting a positive attitude to life. Sports sponsorship is aligned with these values and helps to communicate this message to the public. Hence, OSIM has for many years supported and sponsored sports events like triathlons in Beijing, Hong Kong and Singapore and now, we are honored to be able to play a part in supporting the development of badminton globally.

OSIM has a philosophy of 'Challenging Your Spirit to Do Your Best' and this philosophy applies equally to sports, business, and life in general. By sponsoring the OSIM BWF World Superseries, we hope to encourage and inspire the public to hone their own skills as they see the world's top shuttlers battle for supremacy. Also, we hope this series will motivate a new generation of players to not only excel in the sport, but in life as well. Surely, there is a future world player being inspired amongst the audience throughout the tournament this week!

I am confident that the OSIM BWF World Superseries will take the sport to a higher plane, and wish the organisers, players and audience a successful and enjoyable tournament.

Thank you.

Ron Sim
Founder, Chairman and CEO
OSIM International Limited



Special story

幸運の先に――

文／折山淑美　写真／PHOTO KISHIMOTO

「垣岩とも話しましたが、私たちが本当に決勝の舞台に行けたというのを、なかなか実感できなかったんです。でも首にメダルを掛けてもらったときにその重さにビックリしたというか。『アッ、やっぱり本当なんだ』というのを実感して…。それに応援してくれた人たちのおかげでここまで来れたんだ、と思ったら涙が出てきたんです」

藤井瑞希は、ロンドン五輪の表彰台での涙の訳をこう説明した。

予選リーグ最終戦、A組の世界ランク（WR）1位の於洋（ユ ヤン）／王暁理（ワンシャオリー）（中国）と8位の鄭景銀（ジョンキョンユン）／金ハナ（韓国）、C組の3位・河貞恩（ハ ジョンウン）／金皎貞（キム ミンジョン）（韓国）と12位・ジョハリ／ポリー（インドネシア）が露骨なまでの無気力試合をしたとして失格になった女子ダブルス。藤井と垣岩令佳は、天から舞い降りてきた幸運をメダルへつなげた。「リーグの最終戦で台湾（程文欣（チェンウェンシン）／簡毓瑾（チェンユーチン））に負けたとき、垣岩と『もう終わりかな』と話をしていたんです。でも、もう1回チャンスをもらえたので…」。

2人がいたB組は3ペアが2勝1敗で並ぶ接戦。日本とインドが2位を争い、得失点差で1点だけ上回ったフジカキの決勝トーナメント進出が決まったのだ。

準々決勝の相手は、予選リーグの初戦で末綱聡子／前田美順に競り負けながらも、最終戦でWR2位の趙蕓蕾（ツァオユンレイ）／田卿（ティアンチン）（中国）をストレートで下し1位通過してきたWR6位のリター・ユール／ペダーセン（デンマーク）だった。



「相手は強敵。でも、もうダメだと思っていたのにチャンスをもらえたのだから、試合を楽しもう」

そんな気持ちで試合に臨んだ2人は、序盤から先手を握った。食い下がる相手にも笑顔の途切れないプレーを続けた。第1ゲームは、20－20に追いつかれた後に2ポイントを連取して制した。流れに乗った第2ゲームは、交互に連続ポイントを奪い21－10で勝利。準決勝進出を決め、メダル獲得へ大きく前進したのだ。

だが、準決勝は厳しかった。対戦相手はA組上位2ペアの失格で繰り上がった、WR27位のブルース／リー（カナダ）。格上のフジカキからすれば勝って当然の相手という気持ちが、逆に2人を追い込んだ。

「日本はまだ五輪ではメダルを獲ったことがないのに、勝って当然といわれる状況になった。それで私自身も『獲らなきゃいけない』と、どこかで思ってしまって…。試合中なのに『ヤバイ、どうしよう。逃げたい、逃げたい』と垣岩にいうほどでした」



日本選手が初めてオリンピックの表彰台に。藤井は目を涙で濡らしながら日の丸を見つめた

そう話す藤井に、垣岩は「大丈夫、大丈夫」と声をかけ続けた。

「私も緊張してたけど、いつもは緊張しない先輩が『逃げたい』とか『もう嫌だ』といい出したので。ここは私が積極的に声をかけなければいけないと思って、試合に関係ないことまで話したんです」と垣岩は苦笑する。

1ゲーム目こそ21－12で取ったフジカキだが、メダルが見えた2ゲーム目は緊張感がピークになった。相手に先手を奪われ追いすがる展開になり、結局19－21でゲームを落とした。

だが、カナダペアの善戦もそこまでだった。フジカキが先にポイントを重ね、中盤で大量リードを奪えたファイナルゲームは、21－13で突き放して決勝進出を決め、銀メダル以上を確定させたのだ。

決勝の相手は台湾ペア、ロシアペアを立て続けに圧倒した趙蕓蕾／田卿。今度は垣岩が極度の緊張感に襲われた。

「1ゲーム目のコートは（風上で）シャトルが飛ぶ私たちの苦手な条件でしたが、予選のインド戦や準々決勝で同じコートから始めて勝ったのでゲンを担ぎました。でも、2人とも動きが硬く、相手のスピードも上がってしまって。垣岩は『笑ってよ』と何回いっても笑顔がでないほど緊張していました」（藤井）

「先輩から『楽しんで』といわれるんですけど、やっぱり緊張がありました。まずはシャトルを相手のコートに入れなければと考えたけど、それもできなかったぐらいです」（垣岩）

垣岩のミスが目立った第1ゲームは、10－21で取られた。観客の誰もが、一方的な流れのままで試合が終わるだろうと予想した。だが追い込まれて開き直った第2ゲームは、中盤から垣岩の連続ポイントで息を吹き返すと、そのまま互角に競り合った。最後は敗れたとはいえ、23－25で勝負が決するまでねばり、場内の観客を興奮させた。

試合後、藤井は「これまで第1ゲームがダメだとそのままダメになるパターンが多かったけど、この決勝の舞台で第2ゲームをソコソコ戦えたのはよかった。この五輪を通して多くの試合ができて、自分たちも成長できたと思う」と、ロンドン五輪を振り返った。

藤井からの誘いが転機に

小学生時代から全国区のシングルスプレーヤーとして注目され、中学時代も全国タイトルを獲得した熊本県出身の藤井と、滋賀県出身で中学3年では全中シングルスを制した1歳年下の垣岩が出会ったのは、名門・青森山田高校だった。テクニシャンの藤井と、女子では珍しいジャンピングスマッシュも打てるパワフルな垣岩。藤井が高校2年だった05年岡山国体から本格的にペアを組むようになった2人は、全国高校選抜、インターハイ



藤井瑞希&垣岩令佳

Fujii Mizuki&Kakiiwa Reika

日本／Women's Doubles

ふじい・みずき（写真右）／1988年8月5日（24歳）／160cm60kg／右利き／ルネサス／熊本県出身／湯浦中ー青森山田高

かきいわ・れいか／1989年7月19日（23歳）／166cm64kg／右利き／ルネサス／滋賀県出身／日吉中ー青森山田高

'06IH優勝、'10全日本総合2位、'11全英選手権2位、シンガポールオープン3位、インドネシアオープン3位、ヨネックスオープンジャパン3位、フレンチオープン3位、'12インドオープン3位、ロンドン五輪2位

と高校タイトルを制覇した。

地元・熊本のＮＥＣ九州（現・ルネサス）に入社した藤井は１年目、「自分の体ではシングルスに限界がある」と感じ、高校卒業を控えた垣岩に「一緒に組んで五輪をめざしたい」と電話をした。そして垣岩が後を追って入社してから、本格的な世界への挑戦が始まったのだ。

そんなフジカキにとっての幸運は、垣岩が入社した08年の北京五輪。チームの先輩である末綱／前田が、４位入賞を果たす姿を観ることができた。五輪という目標が身近になり、先輩ペアを尺度にすることで世界との差を計ることもできたからだ。

11年５月から始まった五輪レースでは、つねに世界ランクもベスト４をキープ。末綱／前田と松尾静香／内藤真実の激しい出場権争いを尻目に、五輪出場を決めたのだ。

「垣岩じゃなかったらここまでこられなかったと思う」（藤井）

「先輩がいなかったら五輪をめざしていなかった」（垣岩）

と互いに感謝し合う２人。藤井は銀メダルについてこう話す。

「失格騒動もあってラッキーだったというか、チャンスをものにできたというか…。ただ、私たちだからメダルを獲れたというより、タイミングなどいろいろなものが重なって、このような結果につながったのだと思います」

だがその幸運も、彼女たちが厳しい五輪レースを戦い抜き、第４シードの地位を手にしたからこそ舞い込んできたのだ。それを本物の実力へと変えていこうとする、フジカキの新たな挑戦。その第一歩が、ヨネックスオープンジャパンで見られる。



北陸自動車道(親不知IC付近)

最適な物流ソリューションをお届けします。

先進の3PL(サードパーティーロジスティクス)で無駄のない経営の効率化を実現。

PANTHER

トナミホールディングスグループ

トナミホールディングス㈱
トナミ運輸㈱
トナミ運輸信越㈱
トナミ運輸中国㈱
京神倉庫㈱
トナミ国際物流㈱
茨城トナミ運輸㈱
関東トナミ運輸㈱
トナミ首都圏物流㈱
新潟トナミ運輸㈱
呉西トナミ運輸㈱
全ト運輸㈱
石川トナミ運輸㈱
福井トナミ運輸㈱
武生通運㈱
阿南自動車㈱
全国白帽ジェイエスイー宅配便㈱
第一倉庫㈱
中京トナミ運輸㈱
関西トナミ運輸㈱
大阪トナミ運輸㈱
トナミビジネスサービス㈱
東洋ゴム北陸販売㈱
㈱トーヨータイヤ富山ショップ
トナミ商事㈱
トナミスタッフサポート㈱
けいしんシステムリサーチ㈱

TONAMI

More Than Transportation

トナミ運輸株式会社

サポートのプロ集団がスポーツイベントを成功させる







安心も、快適も、感動も。

株式会社 協栄

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町2−13−9

TEL 03-3666-3251（代表）





熱く燃えた聖地の火

7月27日から8月12日まで行なわれたロンドン五輪。世界の204の国と地域から、約1万500人が参加したスポーツの祭典で、バドミントン競技は聖地・ウエンブレーで熱戦を繰り広げた。ここではメダルに情熱を注いだ選手たちの戦いを振り返る。

今夏、日本はメダルラッシュに沸いた。オリンピック史上最多となる38個のメダル。金７個、銀14個、銅17個の活躍は日本国民に大きな感動を与え、連日猛暑が続く日本列島の静かな夜も熱くした。

38個の栄光のなかに「バドミントン」の文字が刻まれた。女子ダブルス・藤井瑞希＆垣岩令佳の銀メダル――。

「たくさんの応援を力に変えて銀メダルをつかめました。初めてメダルを日本に持ち帰れて本当にうれしいです！」

快挙を演じた藤井の笑顔。日本バドミントン界の悲願ともいうべきメダルは、彼女たちの努力とともに協会やチーム、そして多くのサポートの思いが実を結んだ瞬間でもあった。

フジカキに注目が集まるなか、もう一つ、世界の重い扉を開けた選手がいる。男子シングルスに出場した佐々木翔だ。

「高校生のときから数えるなら４回目」という五輪挑戦でつかんだ初の夢舞台。ベテランの域に達した男が、男子シングルス史上で初の５位入賞を果たした。

準々決勝の相手は中国のエース・林丹（リンダン）。数々のタイトルを獲ってきた最強の相手は、佐々木がリスペクトする選手であり、いつか乗り越えたい壁でもあった。

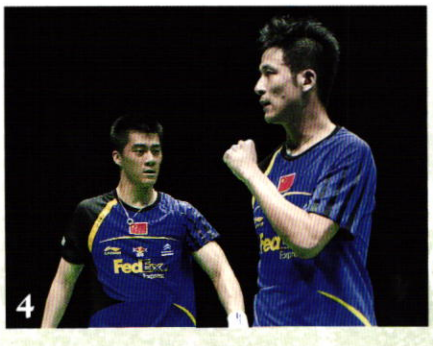
「林丹は映像で研究していますが、何度見ても林丹の強さはすごいと感じる」

今年５月のトマス杯準決勝でも林丹と対戦。敗れはしたが21－23、17－21と怪物に迫っていた。

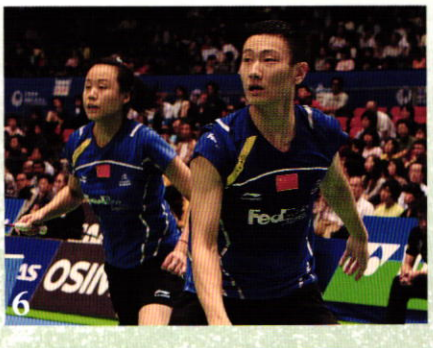
「以前対戦したときに比べて、通用するところがあった。自分のプレーに深みが増してきた感じがします」

そして迎えたロンドン五輪。その対決はＬＩＶＥ中継で日本国内にも流された。第１ゲームは林丹ペースだったが、第２ゲームは佐々木が本領を発揮。林丹の強襲を何度も好捕してチャンスを作ると、豪快なスマッシュを叩き込んだ。ファイナルゲームも一時は林丹に大きくリードされたが、ねばり強くラリーをつなげて逃げ切りを許さない。好ラリーの連続。最後は林丹が16本で辛勝したが、試合後は会場から大きな拍手が送られた。

「今までやってきた方向性は間違いでは













1__ メダルにこそ届かなかった佐々木だが、強豪が集う男子シングルスで大きな価値のある8強
2__ 史上初の五輪男子シングルス連覇を飾った林丹。決勝ではリー・チョンウェイを下し「僕の方が少し幸運だっただけ」と語った
3__ 女子シングルスでヒロインとなったのは李雪芮。21歳の若さで手にした栄光に「金メダルを獲れて幸せ。最高の瞬間だった」
4__ 男子ダブルスは傅海峰／蔡贇が北京での屈辱を乗り越え金メダルを奪取。「夢がかなった。素晴らしい結果だ」と蔡贇はよろこんだ
5__ 優勝候補の於洋／王暁理が無気力試合で失格となった女子ダブルスは、同郷の趙蕓蕾／田卿が王国の意地をみせ優勝を勝ち取った
6__ 中国同士の決勝となった混合ダブルスは張楠／趙蕓蕾が頂点に。「持っている力を出し切れた」と趙蕓蕾。趙蕓蕾は女子ダブルスでも金を獲得

ndon

なかった」と佐々木は死闘を振り返る。

舛田圭太、佐藤翔治といった歴代の日本王者が世界の壁を痛感し涙をのんできた。その思いを知る佐々木だからこそ、五輪という舞台での好勝負、そして8強の成績を残せたのかもしれない。

「林丹戦で完全燃焼できました」

力と力でぶつかったガチンコ勝負は、バドミントンファンだけではなく多くの国民にも記憶として残ったはずだ。

中国が5種目で圧勝の金メダル

聖地・ウエンブレーは中国の燃えたぎる炎に包まれた。5種目完全制覇。もちろん五輪初の快挙だ。

男子シングルス決勝は北京五輪覇者の林丹とリー・チョンウェイ（マレーシア）が激突。母国に初の金メダルを持ち帰るべく強い意思で臨むチョンウェイ。一方の林丹、全盛期ほどの爆発力は薄らいだが、ビッグタイトルでの研ぎ澄まされた集中力は健在。決勝も予想通り一進一退の攻防となり、ファイナル勝負にもつれた頂上決戦はわずかな差で林丹に軍配が上がった。

「素晴らしいライバルと戦えて最高だった」

2度目の金メダルを手に、王者は満足そうに語った。

中国勢同士の決勝は2つ。女子シングルスと混合ダブルスだ。混合は世界王者の張楠（ファンナン）／趙蕓蕾（シューチンレイ）が徐晨（シューチェン）／馬晋（マージン）に完勝。女子シングルスは世界ランク1位の王儀涵（ワンイーハン）を、同4位の李雪芮（リシュエルイ）が打ち破った。21歳の李雪芮は今年の全英、インドオープンを立て続けに制するなど、実力に加えて確かな勢いもあった。「最高の瞬間。この金メダルは中国チーム全体で獲ったもの」という言葉には、国内で切磋琢磨したライバルへの思いもあった。李雪芮がロンドンの地を踏むことが許された裏で、五輪出場権を手にしていた王適嫻（ワンシーシャン）が落選。当時の世界ランクは王適嫻が上だったが、「将来を見据えて」（李永波（リヨンボ）中国総監督）と、若い李雪芮が選ばれていた。重圧を乗り越えた勝者は、コートの上で両手を広げ、その感情を爆発させた。

男子ダブルスでは、北京五輪で銀に終わった傅海峰（フハイファン）／蔡贇（カイユン）が4年越しのリベンジを達成。また、女子ダブルスは「無気力試合」騒動でダントツの優勝候補・於洋（ユヤン）／王暁理（ワンシャオリー）が失格処分に。仲間の思いを継いだ趙蕓蕾／田卿（ティアンチン）が苦しみながら頂点に立った。混合と合わせて2個目の金を手にした趙蕓蕾は、試合後に大粒の涙を流す。中国国民の期待を急きょ背負ったプレッシャーたるや、相当なものだったはずだ。

「コート外のことは気にせず、とにかく試合に集中した」

強い精神力で戦い、そして最高の結果を残した彼女の涙が印象的だった。

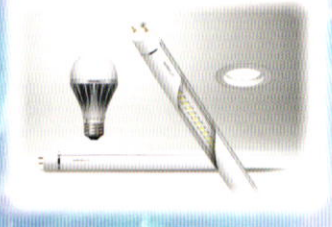
欧州勢が8年ぶりのメダル獲得

そのほかでは、デンマークのボー／モゲンセンが男子ダブルスで銀、混合のフィッシャー／ペダーセンが銅を獲得し、04年アテネ五輪以来となる歓喜を欧州に届けた。インドの至宝、サイナ・ネワルも母国に史上初となる銅メダルをもたらした。しかし、躍進の国がある一方で、苦渋の思いでロンドンを去った国もある。それが韓国、インドネシアだ。前回の北京で金銀銅それぞれ1つずつを首にかけた韓国は、今回男子ダブルス・鄭在成（ジュンジェサン）／李龍大（イヨンデ）の銅のみ。バドミントン王国・インドネシアにいたっては、まさかのメダルゼロの屈辱を受けた。とくにインドネシアは若手選手の突き上げが乏しく、今後も苦しい状況が続きそうだ。

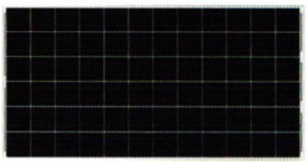
4年間の長い戦いがロンドンの地で終結した。それと同時に2016年リオデジャネイロ五輪の幕が開け、その第一歩がこのヨネックスオープンジャパンとなる。聖地を熱くした火が、代々木第一体育館で再び燃え盛ろうとしている。

「環境企業」

加賀電子グループ

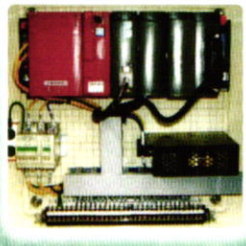


LED照明
オフィス・コンビニ・
ゴルフ場などへ



太陽光発電
ご家庭・企業などへ

エコのことなら
ワンストップサービスで
お客様のご要望に
お応えします。



省エネシステム
工業・商業施設全般へ



蓄電池
ご家庭・企業などへ

加賀電子は、未来の環境と人の暮らしを見つめる、エレクトロニクス総合商社。
環境にやさしいLED照明をはじめ、エレクトロニクスのことなら何でも、
加賀電子グループにお任せください。

加賀電子株式会社
http://www.taxan.co.jp

〒101-8629 東京都千代田区外神田3-12-8 TEL.03-4455-3111(代)
東京証券取引所1部上場(証券コード:8154) 加賀電子グループ:世界14ヶ国51社(国内23社・海外28社)

Preview

大会総展望

ロンドン五輪に出場した世界のトップ選手が、今年も日本に集結。
世界のバドミントンファンに興奮と感動を与えた迫力のあるプレーを、日本の観客の前で披露する。
歴史ある本大会の栄光を手にするのは一体誰か？ ここでは各種目の優勝争いを展望する。



前回男子シングルスの覇者・謝龍。決勝で強敵チョンウェイを破り「うれしくて仕方がない」と喜んだ

男子シングルスはロンドン五輪銀メダルのリー・チョンウェイ（マレーシア）、そして前回の本大会覇者で銅メダルの謝龍（チェンロン）（中国）を中心に展開しそうだ。前回決勝で対決した２人だが、ここでは当時勢いのあった謝龍がチョンウェイを下し初Ｖ達成。しかし、ロンドン五輪準決勝で再び両者が激突すると、今度はチョンウェイが貫録を見せ決勝の舞台に進んだ。中国期待の謝龍と、脂ののっているチョンウェイ。どちらも世界最高峰の力を持つだけに、決勝が２年連続同じカードになる可能性も十分だ。この２人の対抗馬となるのが、今年で引退を表明しているピーター・ゲード（デンマーク）、そしてインドネシアのタウフィック・ヒダヤット、シモン・サントソか。デンマークのヤン・ヨルゲンセンも母国の成長株として上位をねらう。日本からはロンドン五輪８強の佐々木翔、そして08年の本大会で３位に入った田児賢一に期待がかかる。とくに田児はロンドン五輪で不覚をとっただけに、そのリベンジを日本で果たしたい。

中国王朝が席巻する女子シングルス。今回はメダリストは不在だが、10年アジア大会優勝の王適嫻（ワンシーシェン）、10年本大会女王の蔣燕皎（ジャンヤンジャオ）が参戦する。この２強に挑むのは07年に本大会を制したティーネ・バウン（デンマーク）。ティーネは中国選手を破ってスーパーシリーズ優勝をした経験があるだけに、中国選手の独走を阻止するか。リオデジャネイロ五輪の有力候補のラトチャノク・インタノン（タイ）、戴資穎（タイジーイン）（チャイニーズ・タイペイ）ら十代の若手も上位に進出する力を備えている。日本からはエース・廣瀬栄理子、そして16歳で日本一に輝いた奥原希望が海外の強豪を迎え撃つ。

電光石火のラリーが魅力の男子ダブルスには、ロンドン五輪で決勝を争った傅海峰（フーハイファン）／蔡贇（ツァイユン）（中国）とボー／モゲンセン（デンマーク）が出場する。ロンドンでは中国ペアが金メダルを獲得。本大会では３連覇もかかるが、ボー／モゲンセンが欧州の意地で食い止めるか。また、五輪４位のクー／タン（マレーシア）も初制覇を虎視眈々とねらう。

女子ダブルスは前回優勝の若手・包宜鑫（パオイーシン）／鍾倩欣（フォンチェンシン）が２連覇に挑むが、これを阻止するのが日本勢。銀メダリストの藤井瑞希／垣岩令佳、末綱聡子／前田美順の２大看板を軸に、今年のマレーシアオープンで３位入賞を果たした松尾静香／内藤真実らが頂点に向かう。

日本で人気のイケシオのラストゲームとなる混合ダブルス。今回は強豪ライバルが不在のため有終の美を飾りたい池田信太郎／潮田玲子にも優勝のチャンスは十分。また、佐藤翔治／松尾静香は世界ランクこそ16位に位置するが、スーパーシリーズ８強の実績もあり世界上位にも戦える実力を持つ。ここで一気に上位へ進み、イケシオとともに混合ダブルスでは日本初の表彰台をねらいたい。

BWF世界ランキング
（12年8月30日現在）

男子シングルス

1	林丹（中国）
2	リー・チョンウェイ（マレーシア）
3	謝龍（中国）
4	陳金（中国）
5	ピーター・ゲード（デンマーク）
6	シモン・サントソ（インドネシア）
7	佐々木翔（日本）
8	李炫一（韓国）
9	田児賢一（日本）
10	杜鵬宇（中国）
11	ヤン・ヨルゲンセン（デンマーク）
12	タウフィック・ヒダヤット（インドネシア）
13	孫完虎（韓国）
14	グエン・ティエンミン（ベトナム）
15	ハンス・クリスチャン・ヴィッテンフス（デンマーク）
20	上田拓馬（日本）

女子シングルス

1	王儀涵（中国）
2	李雪芮（中国）
3	汪鑫（中国）
4	サイナ・ネワル（インド）
5	王適嫻（中国）
6	ユリアン・シェンク（ドイツ）
7	ティーネ・バウン（デンマーク）
8	成池鉉（韓国）
9	蒋燕皎（中国）
10	ラトチャノク・インタノン（タイ）
11	裵延姝（韓国）
12	戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
13	鄭韶婕（チャイニーズ・タイペイ）
14	ポルンティップ・ブラナプラサットスク（タイ）
16	佐藤冴香（日本）
19	後藤愛（日本）
22	廣瀬栄理子（日本）

男子ダブルス

1	鄭在成／李龍大（韓国）
2	傅海峰／蔡贇（中国）
3	ボー／モーゲンセン（デンマーク）
4	高成炫／柳延星（韓国）
5	キドー／セティアワン（インドネシア）
6	柴鵬／郭振東（中国）
7	クー／タン（マレーシア）
8	アーサン／セプタノ（インドネシア）
9	方介民／李勝木（チャイニーズ・タイペイ）
10	早川賢一／遠藤大由（日本）
11	洪煒／沈燁（中国）
12	平田典靖／橋本博且（日本）
13	佐藤翔治／川前直樹（日本）
14	イサラ／ジョングジット（タイ）
15	劉小龍／邱子瀚（中国）
21	廣部好輝／数野健太（日本）

女子ダブルス

1	於洋／王暁理（中国）
2	趙蕓蕾／田卿（中国）
3	金皎貞／河貞恩（韓国）
4	藤井瑞希／垣岩令佳（日本）
5	包宜鑫／鍾倩欣（中国）
6	リタ・ユール／ペダーセン（デンマーク）
7	夏歓／湯金華（中国）
8	鄭景銀／金ハナ（韓国）
9	程文欣／簡毓瑾（チャイニーズ・タイペイ）
10	末綱聡子／前田美順（日本）
11	松尾静香／内藤真実（日本）
12	サリ／姚蕾（シンガポール）
13	ヴィスロバ／ソロキナ（ロシア）
14	ポリー／ジャウハリ（インドネシア）
15	高橋礼華／松友美佐紀（日本）
50	脇田侑／江藤理恵（日本）

混合ダブルス

1	徐晨／馬晋（中国）
2	張楠／趙蕓蕾（中国）
3	フィッシャー／ペダーセン（デンマーク）
4	アマド／ナッチル（インドネシア）
5	陳宏麟／程文欣（チャイニーズ・タイペイ）
6	プラバカモル／トゥントーンカム（タイ）
7	レイバーン／リター・ユール（デンマーク）
8	チャン／ゴー（マレーシア）
9	李龍大／河貞恩（韓国）
10	池田信太郎／潮田玲子（日本）
11	何漢斌／包宜鑫（中国）
12	高成炫／厳恵媛（韓国）
13	ニコレンコ／ソロキナ（ロシア）
14	ディジュ・V／グッタ（インド）
15	柳延星／張藝娜（韓国）
16	佐藤翔治／松尾静香（日本）

スーパーシリーズ＆ロンドン五輪優勝者（11年9月～12年8月）

2011年

第7戦■中国マスターズ（9月）

MS	謝龍（中国）
WS	王適嫻（中国）
MD	鄭在成／李龍大（韓国）
WD	湯金華／夏歓（中国）
XD	徐晨／馬晋（中国）

第8戦■ヨネックスオープンジャパン（9月）

MS	謝龍（中国）
WS	王儀涵（中国）
MD	傅海峰／蔡贇（中国）
WD	包宜鑫／鍾倩欣（中国）
XD	陳宏麟／程文欣（チャイニーズ・タイペイ）

第9戦■デンマークオープン（10月）

MS	謝龍（中国）
WS	汪鑫（中国）
MD	鄭在成／李龍大（韓国）
WD	於洋／王暁理（中国）
XD	フィッシャー／ペダーセン（デンマーク）

第10戦■フレンチオープン（10月）

MS	リー・チョンウェイ（マレーシア）
WS	汪鑫（中国）
MD	鄭在成／李龍大（韓国）
WD	於洋／王暁理（中国）
XD	フィッシャー／ペダーセン（デンマーク）

第11戦■香港オープン（11月）

MS	林丹（中国）
WS	汪鑫（中国）
MD	傅海峰／蔡贇（中国）
WD	於洋／王暁理（中国）
XD	張楠／趙蕓蕾（中国）

第12戦■中国オープン（11月）

MS	林丹（中国）
WS	王儀涵（中国）
MD	ボー／モゲンセン（デンマーク）
WD	於洋／王暁理（中国）
XD	張楠／趙蕓蕾（中国）

2012年

第1戦■韓国オープン（1月）

MS	リー・チョンウェイ（マレーシア）
WS	王適嫻（中国）
MD	傅海峰／蔡贇（中国）
WD	趙蕓蕾／田卿（中国）
XD	徐晨／馬晋（中国）

第2戦■マレーシアオープン（1月）

MS	リー・チョンウェイ（マレーシア）
WS	王儀涵（中国）
MD	方介民／李勝木（チャイニーズ・タイペイ）
WD	リタ・ユール／ペダーセン（デンマーク）
XD	張楠／趙蕓蕾（中国）

第3戦■全英選手権（3月）

MS	林丹（中国）
WS	李雪芮（中国）
MD	鄭在成／李龍大（韓国）
WD	趙蕓蕾／田卿（中国）
XD	アマド／ナッチル（インドネシア）

第4戦■インドオープン（4月）

MS	孫完虎（韓国）
WS	李雪芮（中国）
MD	イサラ／ジョングジット（タイ）
WD	鄭景銀／金ハナ（韓国）
XD	アマド／ナッチル（インドネシア）

第5戦■インドネシアオープン（6月）

MS	シモン・サントソ（インドネシア）
WS	サイナ・ネワル（インド）
MD	鄭在成／李龍大（韓国）
WD	於洋／王暁理（中国）
XD	プラバカモル／トゥントーンカム（タイ）

第6戦■シンガポールオープン（6月）

MS	ブーンサック・ポンサナ（タイ）
WS	ユリアン・シェンク（ドイツ）
MD	キドー／セティアワン（インドネシア）
WD	包宜鑫／鍾倩欣（中国）
XD	陳宏麟／程文欣（チャイニーズ・タイペイ）

■ロンドン五輪（7-8月）

MS	林丹（中国）
WS	李雪芮（中国）
MD	傅海峰／蔡贇（中国）
WD	趙蕓蕾／田卿（中国）
XD	張楠／趙蕓蕾（中国）



STOP! 未成年者飲酒
飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。
www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社



Heroes of London

ロンドン五輪メダリスト紹介

ロンドン五輪で熱闘を繰り広げた海外の英雄たちが参戦。
名誉ある舞台で栄光を勝ち獲った選手を紹介する。

リー・チョンウェイ

Lee Chong Wei | マレーシア

1982年10月21日（29歳）／170cm60kg
／右利き
'07'10ヨネックスオープンジャパン優勝、'08北京五輪2位、'10'11全英選手権優勝、'11世界選手権2位、'12マレーシアオープン、韓国オープン優勝、ロンドン五輪2位

マレーシアに悲願の金メダルを持ち帰るべく臨んだロンドン五輪は、ライバル・林丹に決勝で敗れて儚く散った。北京後の4年間はチョンウェイが世界を席巻していただけに、金メダル最有力候補としてその失意は相当なものだったはず。それでも試合後には「2014年の仁川アジア大会には出場する」と、現役続行を宣言。世界トップクラスのスマッシュ＆ネットや、球際のねばり強さを再びコートの上で体現してくれるはずだ。本大会は07年、10年と2度の優勝歴がある。3度目の頂点に立ち、これからの再スタートを切りたいところだ。

Men's Singles Silver Medal



Men's Doubles Silver Medal

マシアス・ボー& カールステン・モゲンセン

Mathias Boe&Carsten Mogensen
デンマーク

ボー（写真左）／1980年7月11日（32歳）／186cm75kg／左利き
モゲンセン／1983年7月24日（29歳）／185cm75kg／右利き
'09韓国オープン優勝、'10デンマークオープン優勝、フレンチオープン優勝、'11全英選手権優勝、中国オープン優勝、'12ロンドン五輪2位

欧州勢として唯一、ウエンブレーのセンターコートに立ったのがボー／モゲンセンだ。決勝こそ中国ペアに敗れ銀メダルに終わったものの、その前の準決勝では韓国の鄭在成／李龍大をファイナル勝負で打ち破った。ハイテンポなラリーが主流のアジアンスタイルに対し、ミスの少ない堅実なプレーが2人の持ち味。また、長身の2人が織りなす左&右利きのローテーションは相手にとってはやっかいな攻撃となる。攻守ともに世界トップ級の安定感を誇る2人は、欧州勢として4年ぶりの頂点奪取に向かう。



Men's Singles Bronze Medal

謝龍チェンロン

Chen Long｜中国

1989年1月18日（23歳）／187cm75kg／右利き
'11中国マスターズ、ヨネックスオープンジャパン、デンマークオープン優勝、'12ロンドン五輪3位

ロンドン五輪では3位決定戦で韓国の李炫一を打ち破り、見事銅メダルを獲得した。長身を生かした鋭いスマッシュを打ち込む一方で、ミスの少ない堅実なプレーも得意とする。昨年のヨネックスオープンジャパンでは、ライバルを退けて優勝を果たした。金メダルを獲った同郷・林丹の後継者として、リオ五輪での活躍が期待されている。



傅海峰&蔡贇

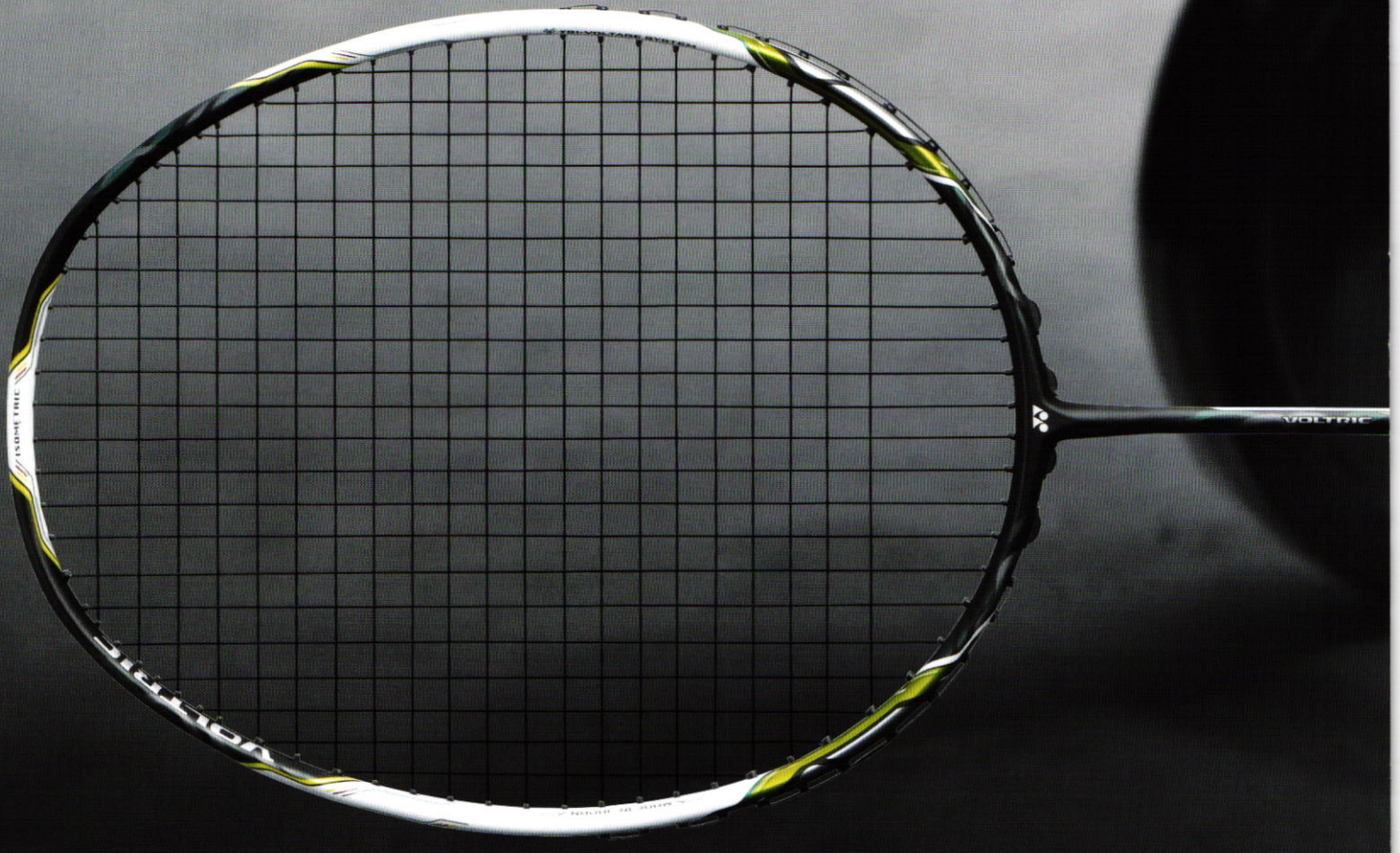
フ・ハイファン&カイ・ユン

Fu Haifeng&Cai Yun | 中国

フ・ハイファン（写真奥）／1984年1月2日（28歳）／183cm70kg／左利き
カイ・ユン／1980年1月19日（31歳）／182cm68kg／右利き
'05'09全英選手権優勝、'06'09～'11世界選手権優勝、'08北京五輪2位、'10'11ヨネックスオープンジャパン優勝、'11インドネシアオープン優勝、'12ロンドン五輪優勝

中国の唯一のウィークポイントとされた男子ダブルスで、初の五輪金メダルを獲得した傅海峰／蔡贇。優勝候補とされた前回が銀メダルに終わっただけに、そのプレッシャーも大きかったはずだ。それでも、ロンドンでは蔡贇の前衛が冴えわたり、傅海峰の豪快無比なスマッシュは何度も相手コートに突き刺さった。デンマークペアとの決勝も「気持ちで僕たちが勝っていた」と振り返り、中国の5種目完全制覇に貢献できたことを喜んだ。熟成された2人は、本大会は男子ダブルスでは初となる3連覇に挑む。

Men's Doubles
Gold
Medal



VOLTRIC Z-FORCE

ボルトリック Z-フォース／¥25,200（本体価格24,000）／日本製　TRI-VOLTAGE SYSTEM　NANOPREME



19kgf*の衝撃。

一撃でポイントを奪う、破壊力のあるスマッシュ。
その決定打に「フォース」を与えるNEWモデル「ボルトリック Z-フォース」が誕生。
Z-フォースから放たれたスマッシュは、レシーブ時、相手ラケットになんと19kg forceの衝撃を与える。
例えるなら、重さ19kgのダンベルを手にした時の重量感に近いだろう。
超重量のHEAVYスマッシュを敵のコートへ叩き込め。

★インパクト時の衝撃力を表す数値で、19ｋｇの物体を受け止める衝撃とは異なります。／kgf：kilogram-force（重量キログラム）

WWW.YONEX.CO.JP/Z

facebook.com/YONEXBadmintonJapan

YONEX®



佐々木翔

Sasaki Sho

日本／Men's Singles

ささき・しょう／1982年6月30日（30歳）／171cm74kg／左利き／トナミ運輸／北海道出身／上磯中－関東第一高－東京富士大短大部－MMGアローズ－北都銀行

'07全日本総合優勝、'07'10大阪国際優勝、'09全英選手権8強、'11インドネシアオープン3位、世界選手権8強、デンマークオープン3位、'12韓国オープン3位、ロンドン五輪8強

30歳にして初めての出場となったロンドン五輪では、男子シングルス初の8強に進出。林丹との準々決勝もファイナル勝負となり、大金星まであと一歩に迫った。ロンドンまでの4年間、試行錯誤しながらバドミントンと向き合った実直な男。左腕から放つ爆発的なスマッシュを本線に、安定したフットワークで相手のミスを誘う。ここ1年の間にはデンマークオープン、韓国オープンといった強豪が集うスーパーシリーズでも上位進出を果たしており、世界ランクも同種目では日本人最高位の6位に浮上した。日本の地でも念願の表彰台をねらう。

Japan, be ambitious

ロンドン五輪出場 日本選手紹介

聖地・ウエンブレーで
好勝負を繰り広げた日本選手たちが、
次はホーム日本で世界の強豪選手を迎え撃つ。
五輪初メダル獲得で
勢いづく日本のバドミントン界。
さらなる高みをめざして、いざ出陣！

好吸收
更充沛

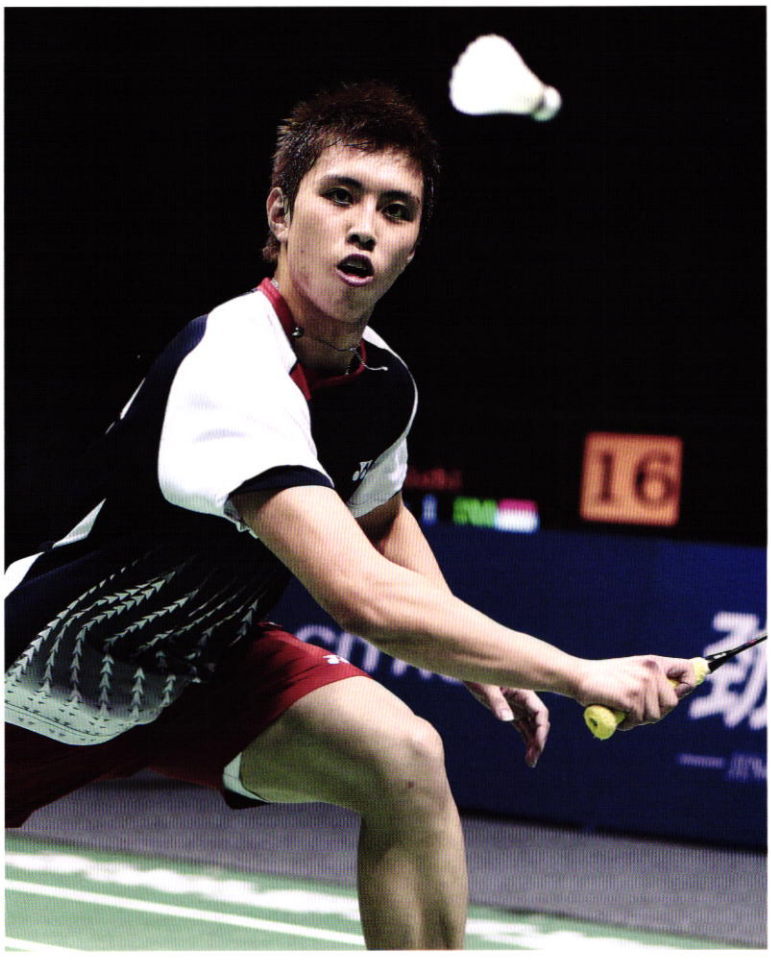
田児賢一

Tago Kenichi

日本／Men's Singles

たご・けんいち／1989年7月16日（23歳）／176cm72kg／右利き
NTT東日本／埼玉県出身
埼玉栄中－埼玉栄高
'06アジアジュニア優勝、'07世界ジュニア2位、'08ヨネックスオープンジャパン3位、'08～'11全日本総合優勝、'10全英選手権2位、'11フレンチオープン2位、'12マレーシアオープン2位、全英選手権3位

メダルも期待されたロンドン五輪はまさかの予選リーグ敗退に終わった。田児にとっては悔恨の試合となったが、世界トップクラスの実力の持ち主であることに変わりはなく、今回も当然周囲からマークされる存在だ。多彩なテクニックはもちろん、最近は体格も増してスマッシュに力強さが加わった。めざすは「もっとも獲りたいタイトル」という本大会での優勝。世界の包囲網を蹴散らし頂点に立つ。



佐藤翔治&川前直樹

Sato Shoji&Kawamae Naoki

日本／Men's Doubles

さとう・しょうじ（写真前）／1982年9月19日（29歳）
168cm60kg／右利き／NTT東日本／東京都出身／上水中－関東第一高－東京富士大短大部－MMGアローズ
かわまえ・なおき／1982年11月6日（29歳）
167cm62kg／右利き／NTT東日本／奈良県出身／二名中－東大阪大柏原高－日本大
'09'10、'11全日本総合3位、'10大阪国際3位、日本ランキングサーキット優勝、'11マレーシアオープン3位、中国オープン3位、'12スイスオープン優勝

1年間の熾烈な五輪レースを勝ち抜き、ロンドン五輪に出場したベテラン。ウエンブレーでは惜しくも予選突破はならなかったが、最終戦で05年世界王者のトニー／バックを破り、集大成ともいえる1勝を手にした。前衛での素早い反応力を持つ佐藤がゲームメイクをし、川前の速攻スマッシュを導くのが2人のスタイル。レシーブからリズムを作れば上位進出も十分可能だ。





末綱聡子&前田美順

Suetsuna Satoko&Maeda Miyuki

日本／Women's Doubles

すえつな・さとこ（写真右）／1981年1月30日（30歳）／168cm60kg／右利き／ルネサス／大分県出身／城東中ー昭和女子高
まえだ・みゆき／1985年10月14日（26歳）／169cm62kg／右利き／ルネサス／鹿児島県出身／国分中ー熊本中央高
'08北京五輪4位、'09ヨネックスオープンジャパン2位、'10スイスオープン2位、デンマークオープン優勝、全日本総合優勝、'11インドオープン優勝、世界選手権3位、'12インドオープン3位、シンガポールオープン3位

前回の北京五輪で4位。日本に"スエマエ"の存在を知らしめた。再びめざしたオリンピックは最後の最後で出場権を手にし、見事2回目のオリンピックへ。本番は持ち味の堅いレシーブから得点を重ねて2勝をあげるが、他ペアとの得失点差で予選リーグ敗退に終わった。五輪後の現役続行を決めた2人。本大会は09年に準優勝の成績をあげて、JAPANの強さを誇示した。今年こそ日本人初の優勝をつかみたい。

池田信太郎&潮田玲子

Ikeda Shintaro&Shiota Reiko

日本／Mixed Doubles

いけだ・しんたろう（写真右）／1980年12月27日（31歳）／175cm70kg／右利き／日本ユニシス／福岡県出身／岡垣中ー九州国際大付高ー筑波大
しおた・れいこ／1983年9月30日（28歳）／166cm／右利き／日本ユニシス／福岡県出身／新津中ー九州国際大付高ー三洋電機
'09全日本社会人優勝、'10日本ランキングサーキット優勝、マレーシアオープン8強、'11ドイツオープン2位、全日本総合優勝、デンマークオープン8強、'12インドオープン8強、シンガポールオープン2位

五輪出場が決定した後のシンガポールオープンで、イケシオは混合ダブルスとして初のスーパーシリーズ決勝進出を遂げた。国民の期待を背負って臨んだ五輪は予選リーグで敗れたが、日本の混合ダブルスにとっては歴史的な1勝を刻みロンドンを後にした。五輪前に潮田が今大会での引退を表明しており、本大会が2人で組む最後の試合。今回は強敵も少なく、優勝をねらえる位置にいる。



4年後の主役たち、
世界へデビュー。

※BWF Junior Rankings correct at July 19 2012



2012 YONEX BWF World Junior Badminton Championships CHIBA

ヨネックス世界ジュニアバドミントン選手権大会2012千葉

BWF
CHIBA 2012
YONEX
WORLD JUNIOR CHAMPIONSHIPS

会期 2012 10/25[木]－11/3[土]

会場 千葉ポートアリーナ

全日程観戦無料

主　催 | 世界バドミントン連盟(BWF)
公益財団法人 日本バドミントン協会
主　管 | 千葉県バドミントン協会
後　援 | 文部科学省、千葉県、千葉県教育委員会 他
冠協賛 | ヨネックス株式会社
競技種目 | 国別団体戦(男子単複・女子単複・混合複)
各種目個人戦(男子単複・女子単複・混合複)

大会公式ホームページ www.badminton-chiba.com/wjc2012

スケジュール		開始時間
10/25 [木]	団体戦(グループリーグ戦)	9:00
26 [金]	団体戦(グループリーグ戦)	9:00
27 [土]	団体戦(グループリーグ戦・準々決勝)	9:00
28 [日]	団体戦(準決勝・決勝)	9:00
30 [火]	個人戦(1・2回戦)	9:00
31 [水]	個人戦(3・4回戦)	9:00
11/ 1 [木]	個人戦(5回戦・準々決勝)	9:00
2 [金]	個人戦(準決勝)	10:00
3 [土]	個人戦(決勝)	10:00

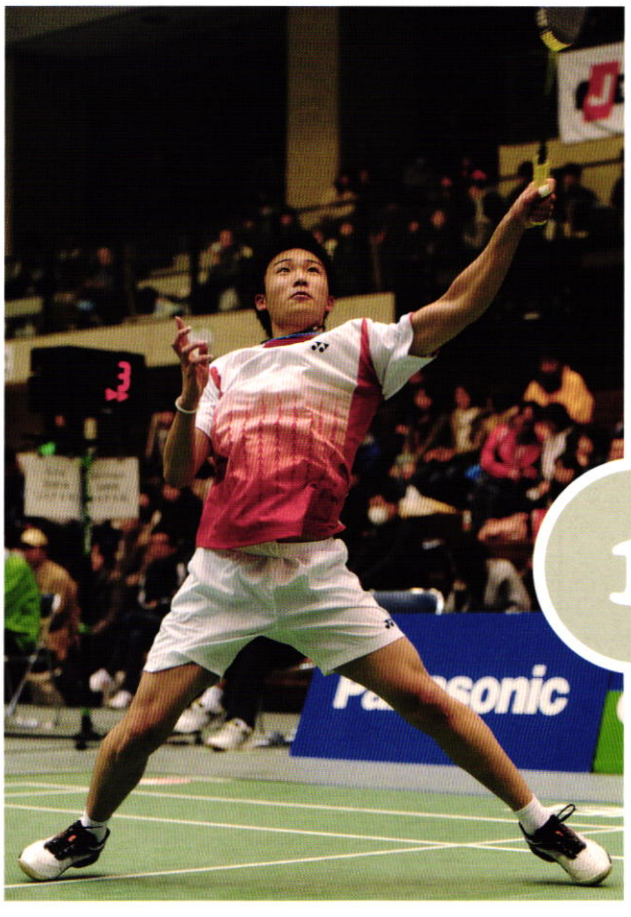
※開始時間は変更になる場合がございます。
※大会公式ホームページにて、各日のドローやタイムテーブルなど、随時更新予定です。
※スポーツテレビ局J SPORTSで放送！詳しくはホームページをご覧ください。
www.jspsorts.co.jp

新世代を駆ける希望の星!

Star of hope ran a new generation

リオデジャネイロ五輪の若手有望選手をチェック!

世界各国のトップ選手が争ったロンドン五輪が終わり、
選手たちにとっては2016年に行なわれる
ブラジル・リオデジャネイロ五輪が次なる目標となる。
ここでは、リオ五輪での活躍が期待される若手注目選手を紹介。
本大会にも出場し、上位進出も期待される新星のプレーを見逃すな!





2

奥原希望 おくはら・のぞみ

Okuhara Nozomi | 日本

1995年3月13日(17歳)／154cm50kg／右利き／大宮東高3年／長野県出身／仁科台中ー大宮東高

国内成績▶'10'11全日本ジュニア単優勝、'11'12IH単優勝、'11全日本総合単優勝

海外成績▶'11オーストリア国際単優勝、カナダオープングランプリ単3位、世界ジュニア単3位、'12アジアユースU19単2位

昨年は本戦2回戦で中国選手に敗れたものの、のちに4強に入った選手にファイナル19本まで迫った。最後までひたむきにシャトルを追う強い気持ちと、ハイレベルな配球力が奥原の大きな武器。制球力にも長けており、正確なラリーで勝機をつかむ。

1

桃田賢斗 ももた・けんと

Momota Kento | 日本

1994年9月1日(18歳)／174cm68kg／左利き／富岡高3年／香川県出身／富岡第一中ー富岡高

国内成績▶'09全中単優勝、'10全日本ジュニア単優勝、'11IH単2位・複優勝、全日本総合単8強、'12IH単優勝

海外成績▶'11世界ジュニア単3位、'12アジアユースU19単優勝

ネット前で見せる絶妙なテクニックはすでに高校生の域を超えている。最近はスマッシュやカットの切れ味も増しており、攻め切る力がついてきた。クレバーな球回しと鋭い読みで相手を崩しチャンスを作れば、ヨネックスオープンジャパンでの初勝利が見えてくるはずだ。

オリンピックを終え、一時代を築いた名選手たちが第一線から退いていく。これにより世界の勢力図に大きな変化が生まれるが、そのキーワードとなるのが「世代交代」だ。各国とも4年後のリオ五輪を見据えたジュニア強化に力を入れており、期待を受けた新芽がコートの上で力強く育っている。

とくに10代選手のなかで活躍しているのが、女子シングルスのラトチャノク・インタノン(タイ)だ。17歳の新鋭は現在世界ランク10位。ジュニア選手の登竜門である世界ジュニア選手権では、09年から3年連続で制覇した。ロンドン五輪でも予選リーグを突破して決勝トーナメントに進み、初戦でドイツの第一人者・ユリアン・シェンクをストレートで破り8強入りを果たした。今大会でも上位進出の可能性もあるだけに、そのプレーに注目が集まる。

チャイニーズ・タイペイの戴資穎もメキメキと頭角を現している選手のひとりだ。高校1年生だった2010年にシンガポールオープンで準優勝を飾り、世界にその名を知らしめた。この好成績を契機にナショナルチーム入りを決め、そこから世界を転戦。今年3月の全英選手権では、強敵を破りベスト4に入った。昨年は本大会で8強。今年はその上をつかみにいく。

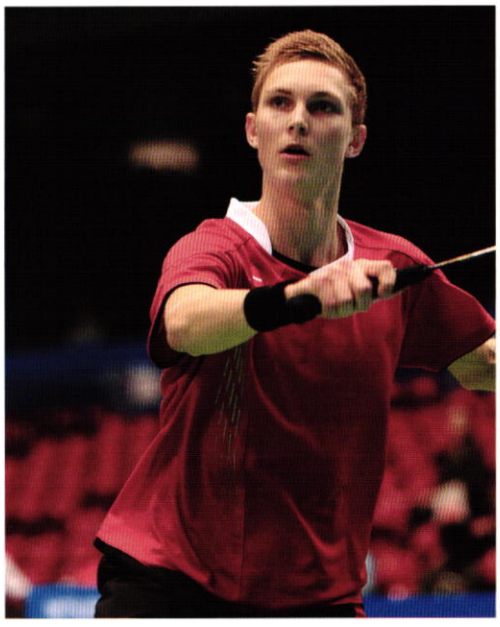
男子シングルスでは、10年世界ジュニア・シングルス優勝のヴィクター・アクセルセン(デンマーク)の成長が著しい。長らく欧州の雄として活躍したピータ

3

ヴィクター・アクセルセン
Viktor Axelsen | デンマーク

1994年1月4日（17歳）／189cm／右利き
'11世界ジュニア優勝、デンマークオープン8強、'12欧州選手権3位、シンガポールオープン3位

189cmの長身を生かした角度ある攻撃に加え、スマッシュにも押し切るパワーがついてきた。まだ粗削りなプレーも目立つが、これからより洗練されていけばトップクラスの仲間入りもそう遠くはない。





4

ラトチャノク・インタノン
Ratchanok Intanon | タイ

1995年2月5日（17歳）／167cm55kg／右利き
'09～'11世界ジュニア優勝、'11台湾オープン2位、デンマークオープン3位、'12タイオープン2位、ロンドン五輪8強

コートを大きく使って相手を走らせミスを誘う。また、手首の強さを生かした切り返しも速く、相手の意表を突く場面も多く見られる。カミソリのような鋭いスマッシュも魅力のひとつだ。



5

戴資穎 タイ・ツーイン
Tai Tzu Ying | チャイニーズ・タイペイ

1994年6月20日（18歳）／163cm57kg／右利き
'10シンガポールオープン2位、'11USオープン優勝、フレンチオープン3位、'12全英選手権3位

軽快なフットワークに加え、速い展開にも対応できるレスポンス力も若手のなかでは群を抜く。スマッシュに重みが増し、強打で押し切るプレーも目立ってきた。

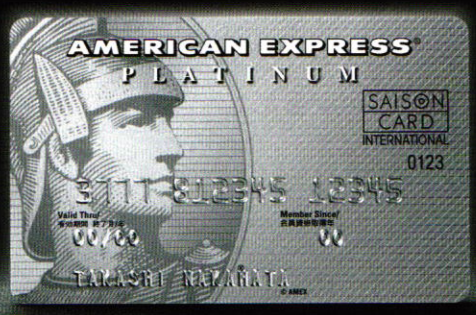
ー・ゲードが今年で引退を表明、その後継者となるのがこのアクセルセンだ。今年6月のシンガポールオープンで3位入賞を果たし、トップ選手にも通用する実力をつけてきた。過去にはピーター・ラスムセン（'97年単優勝）やティーネ・バウン（'07年単優勝）らデンマークの先輩たちが、本大会での優勝をきっかけに世界へと羽ばたいた。欧州の新風が再び巻き起こるか、この目で確かめたいところだ。

日本のホープたちも海外のヤングパワーに引けをとらない。なかでも桃田賢斗（富岡高3年）、奥原希望（大宮東高3年）の2人は、ジュニア世代では世界トップレベルに位置する。桃田は昨年の世界ジュニアで男子シングルス3位入賞、今年7月のアジアユースU19でもハイレベルな選手を抑えて田児賢一以来の優勝を勝ち取った。国内では夏のインターハイも他を圧倒して頂点に立ち、同世代には敵なしといった状況。4年後の五輪候補として期待が高い。

奥原は昨年の全日本総合女子シングルスを16歳8カ月の若さで制し、日本一に輝いた。桃田同様、世界ジュニア3位、アジアユース準優勝の好成績を残しており、日本のエースとして世界の舞台で輝く日もそう遠くないはずだ。前大会は2回戦で敗れたが、1年間で大きく成長した姿を日本のファンの前で披露する。

リオ五輪はまだ4年先の話とはいえ、若手には“今”がスタートライン。今年は誰が世界に飛躍する新星となるのか――。

語り継がれる人生に、ヴィンテージな一枚を。



PLATINUM

¥21,000 Tax Included / Invitation Only

- プラチナメンバーだけの優待プログラム「entrée（オントレ）」
- 世界600以上の空港ラウンジを無料で「プライオリティ・パス」
- 24時間年中無休のコールセンター「コンシェルジュサービス」
- GOLDのサービスも加えてご利用いただけます。



GOLD

¥10,500 Tax Included

- 国内主要空港で搭乗前の優雅なひととき「空港ラウンジサービス」
- 旅も日常もポイント優遇「海外2倍／国内1.5倍ポイント」
- 月会費2,100円を割引「コナミスポーツクラブご優待」
- BLUEのサービスも加えてご利用いただけます。



BLUE

¥3,150 Tax Included

- 海外旅行の荷物をお届け「セゾン手荷物無料宅配サービス」
- 大きな安心がゆとりを演出「海外・国内旅行傷害保険」
- 購入商品の破損・盗難を補償「ショッピング安心保険」
- PEARLのサービスも加えてご利用いただけます。



PEARL

¥1,050 Tax Included（カードご利用で無料）

- ホテル・レストランでご優待「アメリカン・エキスプレス・セレクト」
- 旅にさらなるご満足「海外2倍ポイント」
- ネットショッピングも安心「オンライン・プロテクション」

至高のサービス・圧倒的なポイントプログラム セゾンカード革新のラインナップ

SAISON AMERICAN EXPRESS® CARD

www.saison-amex.jp

海外注目選手紹介

ロンドン五輪メダリスト以外にも
多くの五輪戦士が登場する。
世界トップレベルの白熱したゲームを見逃すな！



クー・ケンケット&タン・ブンホン

Koo Kien Keat&Tan Boon Heong

マレーシア／Men's Doubles

クー（写真前）／1985年9月18日（27歳）／179cm70kg／右利き
タン／1987年9月18日（25歳）／181 cm75 kg／左利き
'06'10ヨネックスオープンジャパン2位、'06アジア大会優勝、'07全英選手権優勝、'09デンマークオープン優勝、'11韓国オープン3位、'12インドネシアオープン3位、ロンドン五輪4位

ロンドン五輪は惜しくも3位決定戦で敗れてメダルを逃したが、過去に全英選手権やアジア大会を制したマレーシアのエースダブルス。高い身体能力を武器に驚きのプレーを連発するクーと、高速ジャンプスマッシュを叩き込むタンのコンビは一見の価値あり。アジア選手らしい、スピーディーかつパワフルなプレーでダブルスのおもしろさを教えてくれるはずだ。



タウフィック・ヒダヤット
Taufik Hidayat

インドネシア／Men's Singles

1981年8月10日（31歳）／175cm64kg／右利き
'02'06アジア大会優勝、'04アテネ五輪優勝、'05世界選手権優勝、'07'09ヨネックスオープンジャパン2位、'10フレンチオープン優勝、'11マレーシアオープン2位

世界のバドミントンファンから愛されるインドネシアの至宝。ケガの影響で2年以上スーパーシリーズのタイトルから遠ざかっており、全盛期に比べてスピードの衰えは隠せない。しかし、観る者を惹きつける抜群のテクニックや変幻自在のバックハンドは健在だ。



ブーンサック・ポンサナ
Boonsak Ponsana

タイ／Men's Singles

1982年2月22日（30歳）／178cm68kg／右利き
'04アテネ五輪4位、'10マレーシアオープン2位、シンガポールオープン2位、'11アジア選手権8強、'12シンガポールオープン優勝

今年のロンドンで4回目の五輪出場を果たしたタイのエース。ネット前での巧みなプレーに加え、接戦での勝負強さにも定評がある。



シモン・サントソ
Simon Santoso

インドネシア／Men's Singles

1985年7月29日（27歳）／175cm68kg／右利き
'09世界選手権8強、デンマークオープン優勝、ヨネックスオープンジャパン3位、'11マレーシアオープン3位、韓国オープン3位、中国オープン3位、'12インドネシアオープン優勝

タウフィック・ヒダヤットとともにバドミントン王国・インドネシアを支える。飛び抜けた武器こそないが、安定感のあるラリーと高い総合力で強敵を退ける。柔軟な体を生かしたラウンドのショットは必見。



ボディン・イサラ& マニーポン・ジョングジット

Bodin Issara&Maneepong Jongjit

タイ／Men's Doubles

イサラ（写真左）／1990年12月12日（22歳）／176 cm 72 kg／左利き
ジョングジット／1991年3月21日（21歳）／178 cm75 kg／右利き
'12インドオープン優勝、ロンドン五輪8強

4月のインドオープンを制覇。この優勝で五輪出場を決めると、ロンドンの大舞台では予選突破を果たし8強に進出した。イサラが果敢なジャンプスマッシュで相手を崩し、ジョングジットが冷静に前でさばく。

ヤン・ヨルゲンセン

Jan O Jorgensen

デンマーク／Men's Singles

1987年12月31日（24歳）／187cm74kg／右利き
'09世界選手権8強、'10欧州選手権2位、'10'11デンマークオープン優勝、'12韓国オープン、マレーシアオープン8強

187cmから放たれるスマッシュは破壊力抜群。一方で、コート上ではつねにあきらめない姿勢を持ってシャトルを追いかける。ピーター・ゲードが引退した後は、これからの欧州勢を引っ張る若手の成長株だ。



グエン・ティエンミン

Nguyen Tien Minh

ベトナム／Men's Singles

1983年2月12日（29歳）／165cm60kg／右利き
'09ヨネックスオープンジャパン3位、'10マレーシアオープン3位、インドネシアオープン3位、'11世界選手権8強、'12シンガポールオープン3位

コートの中を駆け回るスピーディーなフットワークは世界トップクラス。現在はシンガポールを練習の拠点としているが、母国・ベトナムでは有名なスポーツ選手として国民に知られている。





潘楽恩&謝影雪
プーン・ロックヤン&ツェ・インスェット

Poon Lok Yan&Tse Ying Suet

ホンコン・チャイナ／Women's Doubles

潘楽恩（写真右）／1991年8月22日（21歳）／169cm 61kg／右利き
謝影雪／1991年11月9日（20歳）／165cm 63kg／左利き
'11ヨネックスオープンジャパン3位、香港オープン8強、'12全英選手権8強

前大会ではデンマークの強豪リター・ユール／ペダーセンをファイナル勝負の末に破り、ベスト4に進出した。今年は全英選手権でも8強入り。着実に力をつけているホンコン・チャイナのエースペア。



ティーネ・バウン
Tine Baun

デンマーク／Women's Singles

1979年7月21日（33歳）／181cm／右利き
'07ヨネックスオープンジャパン優勝、'08'09全英選手権優勝、'09デンマークオープン優勝、'10世界選手権3位、'11シンガポールオープン2位、'12ロンドン五輪8強

07年の本大会でスーパーシリーズ初優勝を飾り、そこから一気に世界のスターダムへと駆け上がった。重厚感たっぷりのスマッシュだけではなく、ネットプレーにも深みが増した。打倒中国の一番手として本大会2度目の優勝に挑む。



王適嫻 ワン・シーシャン
Wang Shixian

中国／Women's Singles

1990年2月13日（22歳）／168cm60kg／右利き
'08世界ジュニア3位、'09中国マスターズ優勝、'10韓国オープン優勝、アジア大会優勝、'11マレーシアオープン、全英選手権優勝、'12韓国オープン優勝

ロンドン五輪は出場できなかったが、過去にはアジア大会、全英選手権などを制している。ネット前でのテクニックと頭脳的なプレーで相手を翻弄。最後まであきらめない強い精神力も魅力のひとつだ。



成池鉉 スン・ジヒュン
Sung Ji Hyun

韓国／Women's Singles

1991年7月29日（21歳）／175cm56kg／右利き
'10韓国オープン2位、'11デンマークオープン8強、フレンチオープン8強、'12シンガポールオープン3位、インドネシアオープン3位

全英選手権単複優勝の母と単3位の父を持つバドミントン界のサラブレッド。幼少時代からシャトルを追い続け、両親と同じ世界の舞台で活躍するまでに成長した。洗練されたフォームから繰り出す多彩なショットに注目。

包宜鑫&鐘倩欣
バオ・イーシン&ツォン・チャンシン
BAO Yixin & ZHONG Qianxin

中国／Women's Doubles

包宜鑫（写真右）／1992年9月21日（19歳）／174cm／右利き
鐘倩欣／1990年5月8日（22歳）／右利き
'11ヨネックスオープンジャパン優勝、'12マレーシアオープン3位、アジア選手権2位、インドオープン2位、インドネシアオープン3位、シンガポールオープン優勝

昨年の本大会でスーパーシリーズ初優勝。今年もシンガポールオープンを制しており、勢いのある速攻で相手を押し込みチャンスを生み出す。リオ五輪では有力候補として活躍が期待される若手ペア。



日本人注目選手紹介

Japan Spirit!

世界の精鋭たちが集結する本大会。
名だたる強豪に熱き魂でぶつかっていく日本選手を紹介する。

遠藤大由&早川賢一

Endo Hiroyuki & Hayakawa Kenichi

日本／Men's Doubles

えんどう・ひろゆき（写真右）／1986年12月16日（25歳）／172cm71kg／右利き／日本ユニシス／埼玉県出身／里中ー小松原高ー日体大
はやかわ・けんいち／1986年4月5日（26歳）／177cm80kg／右利き／日本ユニシス／滋賀県出身／日吉中ー比叡山高ー日本大
'10デンマークオープン3位、'11オーストラリア国際優勝、インドオープン8強、シンガポールオープン8強、'12韓国オープン8強、アジア選手権2位、シンガポールオープン3位

ペアを組んで3年目。ロンドン五輪こそ逃したが、今年に入り好結果が出始めてきた。前衛で素早く反応しチャンスを演出する早川、そして後方から豪打を連発できる遠藤の型がはまれば、強豪相手にも十分対抗できる力を持っている。





平田典靖&橋本博且

Hirata Noriyasu & Hashimoto Hirokatsu

日本／Men's Doubles

ひらた・のりやす（写真左）／1983年11月17日（28歳）／180cm78kg／右利き／トナミ運輸／富山県出身／利賀中ー高岡工芸高ー日体大
はしもと・ひろかつ／1985年12月18日（26歳）／178cm76kg／右利き／トナミ運輸／熊本県出身／三和中ー八代東高ー日体大
'09'10'11全日本総合優勝、'10大阪国際優勝、インドネシアオープン3位、'11アジア選手権2位、インドオープン優勝、フレンチオープン3位、'12全英選手権3位

今年の全英選手権では日本男子ダブルス史上6組目の準決勝に進出。ロンドンの道は惜しくも断たれたが、世界と互角に戦い続けた経験値は十分。ハードヒッターである橋本の強打を、平田が巧みに導き得点を重ねるのが2人のスタイルだ。



上田拓馬

Ueda Takuma

日本／Men's Singles

うえだ・たくま／1989年3月21日（23歳）
174cm67kg／右利き／日本ユニシス／東京都出身／埼玉栄中ー埼玉栄高ー早稲田大
'10インカレ優勝、'10'11全日本総合3位、'12オーストラリアグランプリゴールド8強、マレーシアグランプリゴールド8強、USオープン2位、ベトナムオープン2位

各年代で全国上位に入る活躍を見せ、大学時代はインカレで初タイトルを手にした。国際経験はまだ少ないが、今年5月のトマス杯では日本を銅メダルに導いた。ていねいなラリーと素早いスマッシュ&ネットが持ち味。



後藤 愛
Goto Ai

日本／Women's Singles

ごとう・あい／1983年10月20日（28歳）／152cm51kg／右利き／NTT東日本／岐阜県出身／岐南中ー県岐阜商高ー東海女子大
'07全日本総合2位、'09大阪国際優勝、'11香港オープン8強、'12オーストラリアオープン3位

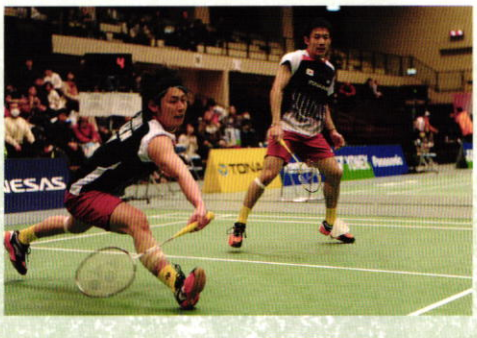
小柄な体をフル回転させ、ひたむきにねばり強くシャトルを追い続けチャンスを作り出す。カットやネット前での技術にも長けており、長いラリーになれば後藤のペース。スーパーシリーズでは8強が最高だが、その壁を日本で打ち破りたい。

園田啓悟&嘉村健士
Sonoda Keigo & Kamura Takeshi

日本／Men's Doubles

そのだ・けいご（写真右）／1990年2月20日（22歳）／168cm63kg／右利き／トナミ運輸／熊本県出身／八代第三中ー八代東高ーくまもと八代YKKAP
かむら・たけし／1990年2月14日（22歳）／168cm68kg／右利き／トナミ運輸／佐賀県出身／唐津第一中ー八代東高ー早稲田大
'11'12ランキングサーキット優勝、マレーシア国際優勝、'12大阪国際優勝、カナダオープン優勝

高校時代にペアを組んで全国大会で活躍。卒業後は進路が別れたが、今年から同じトナミ運輸でプレーすることになり本格的にペアを再結成させた。スピーディーな展開を得意とし、速攻の連続で相手を押し切る。







松尾静香&内藤真実
Matsuo Shizuka & Naito Mami

日本／Women's Doubles

まつお・しずか（写真後）／1986年11月24日（25歳）／157cm／右利き／パナソニック／大阪府出身／瓜破西中ー此花学院高
ないとう・まみ／1986年12月25日（25歳）／172cm／左利き／パナソニック／神奈川県出身／串川中ー元石川高ー日体大
'09全日本総合優勝、'10デンマークオープン2位、'11全英選手権3位、シンガポールオープン3位、'12マレーシアオープン3位、アジア選手権3位

前回の本大会で8強に入って以降は、フレンチ、中国、韓国の各スーパーシリーズでも8強に進出。1月のマレーシアオープンでは中国、チャイニーズ・タイペイの強敵を下して3位に入った。松尾が抜群の読みと球さばきでゲームメイクし、内藤の豪打を導く。

髙橋礼華&松友美佐紀
Takahashi Ayaka & Matsutomo Misaki

日本／Women's Doubles

たかはし・あやか（写真右）／1990年4月19日（22歳）／164cm／右利き／日本ユニシス／奈良県出身／聖ウルスラ学院英智中ー聖ウルスラ学院英智高
まつとも・みさき／1992年2月8日（20歳）／159cm52kg／右利き／日本ユニシス／徳島県出身／徳島中ー聖ウルスラ学院英智高
'11全日本総合優勝、デンマークオープン8強、中国オープン8強、'12インドオープン8強、USオープン優勝、カナダオープン優勝

高校時代からペアを組む2人は、昨年国内のライバルを打ち破り日本王者に輝いた。今夏はアメリカ、カナダの大会で連続優勝を果たし好調をキープ。髙橋のアタック力と松友の鋭い飛び出しを武器に、世界の強豪に挑む。

廣瀬栄理子
Hirose Eriko

日本／Women's Singles

ひろせ・えりこ／1985年3月16日（27歳）／164cm55kg／右利き／パナソニック／兵庫県出身／中谷中ー青森山田高
'04'06'08～'10全日本総合優勝、'08北京五輪16強、'09ヨネックスオープンジャパン3位、'10インドネシアオープン3位、アジア大会3位、'11全英選手権2位、'12シンガポールオープン8強

日本女子シングルスの第一人者。ケガに泣いた時期もありロンドン五輪には手が届かなかったが、世界と対等に渡り合える軽快なフットワークと鋭いカットは一級品。長らく好成績から遠ざかっているぶん、ホームで復活ののろしを上げたい。



株式会社エムアイジェイ
旅行業免許：東京都知事登録旅行業第3-6527号
東京都中野区野方5-28-4-20
電話：03-5364-9500　FAX：03-5364-9555
Eメール：info@mij18.com
http://www.mij18.com

エムアイジェイ

◆イベントに関わる旅行手配

国際・国内各種イベントに関わる総合手配・事務代行を致します。
ホテル手配・空港送迎・シャトルバスの運行、
海外選手招聘に際しての招聘状作成代行等、
多岐にわたりイベント運営のお手伝いを致します。

◆訪日外国人への国内旅行手配（インバウンド）

訪日外国人旅行客（一般観光客・ビジネス旅行客・報奨旅行客・インセンティブ等）へ、
日本ならではの、きめ細やかなサービスを提供し、
この美しく素晴らしい日本に来日された皆様へ最高のおもてなしを提供します。

◆国内旅行

各種チケット手配、ホテル・旅館手配、観光バス手配
社員旅行やグループ旅行のお手配を承ります。

Sweet chalk art



◆お店の看板つくります！

Sign art（チョークアート看板）、インテリアチョークアートを
オーダーに合わせて制作いたします。

◆チョークアートをはじめたい！

体験教室から本格レッスンまで。
チョークアートに興味がある方、一度やってみたいなぁという方から
本格的に取り組みたい方まで対応。
自宅で楽しめるお試しキットもあります。

詳しくは
http://www.chalk-art.com/

おもてなしに
時をのせて
50th
Anniversary



日本の伝統美に包まれた くつろぎのひととき。

世界中からの
お客様をお迎えするにふさわしく、
また、どんなときでも
ゆったりと、くつろげる空間に。
日本という国に伝わる
”和“の美しさに、真心を添えて。
1962年の開業時から大切にしている
ホテルオークラ東京のおもてなしです。

Hotel Okura
TOKYO

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4 TEL (03)3582-0111
www.hotelokura.co.jp/tokyo

Final

Peter Gade

ピーター・ゲード

98年ヨネックスオープンジャパン。21歳の若さで頂点に立ったピーター・ゲードは、直後の優勝会見でこれからの課題を聞かれて、こう話した。

「今の状態で満足していたら、20歳そこそこで終わってしまう。もっと自分を磨かないといけない」

それから14年。ストイックなまでにバドミントンと向き合い、数多くのタイトルと名誉を手にした欧州の雄が、いよいよラケットを置く。

90年代後半、アジア選手が世界の中心にあった男子シングルスのなかで、ひとりの若き青年が新たな風を生み出した。183cmの長身から爽快に放たれるジャンプスマッシュと、ネット前での柔らかな球さばき。多くのライバルたちと激闘を繰り広げても、表彰台の一番上にはいつもピーターがいた。98年に世界ランク1位に躍り出てからは、以後4年間もその座を譲り渡すことはなかった。99年には伝統と格式のある全英選手権で優勝を遂げ、名実ともに頂点に君臨。それでもピーターは、決して結果に満足することはなかった。

「バドミントンが好きで好きで、よく練習をし過ぎることもあるんだ」

ひたむきで真摯な姿勢も、世界のファンを魅了し続けた理由だろう。どこの国でもピーターは愛され続ける人だった。

挫折も知った。01年の終わりに右ヒザを故障し、1年もの長期離脱を余儀なくされた。リハビリと復帰の繰り返しだったが、コートから離れることは考えもしなかった。

「また必ず勝てると、自分を信じる気持ちを持つことができた」

05年韓国オープンで復活劇を遂げると、06年には世界ランク1位に返り咲く。それから歳を重ねても、毎年100日以上の遠征に出かけ、強敵との勝負にこだわった。

4度目の出場となったロンドン五輪。準々決勝で中国の若手・譚龍に敗れ、最後の大舞台を終えた。そしてこれからは日本を含む数大会に出場し、地元・デンマークのコペンハーゲンがピーターのラストゲームとなる。

「引退後はコーチをやろうと思っているけど、選手として限界に挑戦する意気込みや緊張感がなくなるのが寂しいよ」

長年吹き続けた北欧の風が、静かに止もうとしている。これから吹き上げるだろう、新たな風に思いを託して。

1976年12月14日（35歳）／183cm73kg／右利き
'98'99ヨネックスオープンジャパン優勝、'99全英選手権優勝、'00シドニー五輪4位、'04アテネ五輪8強、'05韓国オープン優勝、'08北京五輪8強、'10世界選手権3位、'11インドネシアオープン2位、世界選手権3位、'12ロンドン五輪8強



98年に本大会初優勝を飾ったピーター・ゲード。新たなスター誕生に日本のファンも大いに沸いた

コートを去りゆくとき——。

新たな才能が台頭してくるなか、静かにコートを去るものもいる。
デンマークのピーター・ゲード、そして潮田玲子だ。どちらも日本で戦うのは本大会が最後。
その勇姿をしっかり目に焼きつけたい。

Shiota Reiko
潮田玲子

切り開いた道を、しっかり歩み続けた。
「悔いがないといったら嘘になるけど、五輪に出られて本当によかった」
ロンドン五輪の終結とともに、潮田玲子の４年間に渡る長き挑戦が終わった。それと同時に、バドミントン選手・潮田玲子のフィナーレが近づいてくる。

４年前の北京五輪。潮田は小椋久美子とともに念願の大舞台に臨んだ。結果は５位入賞。潮田は大会をこう振り返る。
「大会中は夢を見ているようでした。ここまで挑戦することが本当に楽しかった」
目標だった五輪を終え、２人は“これから”を考える。導き出した答えはペア解消。その年の全日本総合５連覇を最後に、それぞれが見つけた道を歩むことになった。
一時は引退も考えた潮田だが、進んだのは険しい道のりだった。高校の先輩・池田信太郎との混合ダブルスでロンドンをめざす——。日本選手にとっては未開拓の種目で、潮田は再び闘志を燃やすことを決めると、ダブルスに専念するため池田が所属する日本ユニシスに移籍。心機一転は、彼女の決意の表れだった。
しかし、その思いとは裏腹に勝ち切れない日々が続く。世界の壁は想像以上に高く、乗り越えられない。１回戦負けが続くこともあったが、それでも潮田が立ち止まることはなかった。
「とにかく自分を信じるしかない」
ようやく手応えをつかみ始めたのは、ペアを組んで２年が経った11年デンマークオープン。ここで８強に入ったイケシオは、勢いそのままに全日本総合でも優勝。長く暗いトンネルにようやく光が射し込むと、ロンドン五輪前のシンガポールオープンでは、初のスーパーシリーズ決勝に進出する快挙を達成した。
バドミントンの聖地・ウエンブレーで行なわれたロンドン五輪は、予選リーグで敗れはしたものの、未来の選手に希望をつなげる１勝をあげた。「もう一度五輪の舞台に立てたのは大きかった」と話した潮田。この後に進む道はすでに決まっていた。それがヨネックスオープンジャパンでの引退だった。
「子どものころから憧れの大会。日本の皆さんの前で最後のプレーを見てもらいたい」
バドミントン界のヒロインとして活躍し続けた潮田。そのシンデレラストーリーが今、幕を閉じようとしている。



オグシオのブレイクのきっかけとなったのは05年本大会。ここで3位入賞を果たし、２人は世界へ飛躍していった

しおた・れいこ／1983年9月30日（28歳）／166cm／右利き／日本ユニシス／福岡県出身／新津中－九州国際大付高－三洋電機
女子複：'04～'08全日本総合優勝、'05ヨネックスオープンジャパン３位、デンマークオープン優勝、'06アジア大会3位、'07世界選手権３位、'08北京五輪８強（ペアは小椋久美子）
混合複：'09全日本社会人優勝、'11ドイツオープン2位、デンマークオープン８強、全日本総合優勝、'12インドオープン8強、シンガポールオープン2位


スポーツの
楽しさを
広げよう
info@vinqui.com
facebook.com/vinqui
twitter.com/vq_sports
VQ
vinqui.com



技術の上で、
熱戦は
繰り広げられた。

KENKO SPORT FLOOR MAT

ケンコースポーツ フロアーマット



ファスナージョイント式
インドアポータブルコートマット

お気づきですか ファスナージョイント

実はこのコート、特殊ファスナーでつなぎ合わせているのです。ですから設営、撤去が短時間で作り上げられ取り扱いは簡単。約100㎡の空間スペースがあれば、どこでも理想的なコートがつくれる画期的な移動組み立て式コートマットです。

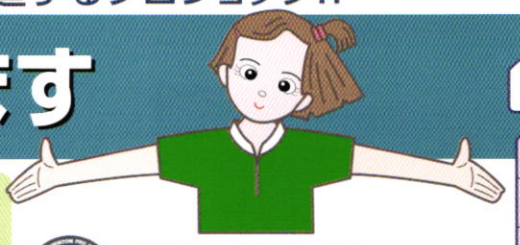
BWF国際バドミントン連盟公認コート
(公財)日本バドミントン協会公認コート

USING EXAMPLE FOR INTERNATIONAL GAMES
Thomas cup & Uber cup・Barcelona Olympic・
The England open・Atlanta Olympic

ナガセケンコー株式会社
www.nagase-kenko.com
〒131-8520　東京都墨田区墨田2-36-10
商品についてのお問い合わせ：(03) 3614-3505
[東京本社] TEL (03) 3614-3501㈹
[九州営業所] TEL (092) 471-5381㈹
[広島営業所] TEL (082) 850-1260
[大阪営業所] TEL (06) 6531-0783㈹
[名古屋営業所] TEL (052) 734-8886
[札幌営業所] TEL (011) 598-7435

バドミントンプレーヤーと共に創造するプロショップ!!

信頼と実績でお届けします



日本バドミントン専門店会加盟店

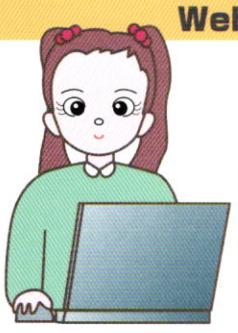
全国56加盟店、総店舗数96店舗、当加盟店はバドミントンに関して熟知しているプロのスタッフやアドバイザーが皆様のご来店をお待ちしております。個人の技術相談、地域の活性化から日本バドミントン界のレベルアップまで日本バドミントン専門店会はお手伝いさせて頂きます。

JAPAN BADMINTON Pro Shop Union



ご注文は最寄りの加盟店・Webショップで!!

Webショップで、ご注文



http://www.badminton-psu.com

上記にアクセスして頂きカタログ又はホームページから商品をお選びください。

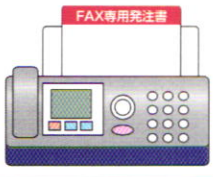
日本バドミントン専門店(株)ネットショップでは常時、加盟店の協力でアウトレット商品・廃盤品等のお買い得商品を掲載しております。
又、新製品の情報・販売も素早く対応しておりますので来店をお待ちしております。

携帯でも注文が出来ます

携帯へURLをメールで送るQRコードで簡単にアクセスできます。

FAXで、ご注文

カタログ又はホームページから商品を選んで頂きFAX専用発注書に必要事項をご記入下さい。



最寄りの加盟店、又は日本バドミントン専門店会Webショップ迄、FAXして下さい。

FAX番号

0774-32-1041

お電話でのご注文



お気軽に最寄りの加盟店迄、お問い合わせ下さい。



北海道ブロック

ラケットショップスガワラ札幌店	TEL.011-271-3855 FAX.011-290-1668
ラケットショップスガワラ厚別店	TEL.011-896-8055 FAX.011-896-8077
スポーツプラス	TEL.0155-23-9193 FAX.0155-23-9194
イトースポーツ	TEL.0166-32-1788 FAX.0166-34-8898
クラウン商会	TEL.0143-43-1006 FAX.0143-45-4858

東北ブロック

ラケットショップ ササキ	TEL.0178-45-0028 FAX.0178-45-0180
プロショップ アオモリ	TEL.017-777-0239 FAX.017-777-0243
ラケットハウス OISPO	TEL.0197-25-8823 FAX.0197-25-8864
ラケットショップ 広瀬	TEL.022-265-0778 FAX.022-262-6103
ラケットショップ 広瀬 泉店	TEL & FAX.022-375-2255
ラケットショップ広瀬 盛岡店	TEL.019-638-1161 FAX.019-637-6170
ラケットショップ 山形	TEL.023-643-6238 FAX.023-643-6267
リトルビル	TEL.024-934-5642 FAX.024-934-5740
千秋スポーツ	TEL.018-883-1151 FAX.018-883-1153

関東ブロック

ラケットショップ SWING	TEL & FAX.029-824-0097
ラケットショップ キャビン大宮店	TEL.048-643-5865 FAX.048-645-2295
ラケットショップ キャビン柏店	TEL.04-7166-7756 FAX.04-7164-5489
ラケットハウスグリップ	TEL & FAX.048-644-3115
ピークスポーツ千葉店	TEL & FAX.043-253-1103
ピークスポーツ錦糸店	TEL & FAX.03-3621-0255
ウエンブレー学芸大学本店	TEL.03-3716-2626 FAX.03-3719-3377
ウエンブレー渋谷店	TEL.03-3409-6622 FAX.03-3498-2829
ウエンブレー池袋店	TEL.03-5952-7070 FAX.03-5952-6677
ウエンブレー秋葉原店	TEL.03-3258-2626 FAX.03-3258-2255
ウエンブレー藤沢店	TEL.0466-26-7272 FAX.0466-26-7559
ウエンブレー横浜店	TEL.045-317-5959 FAX.045-317-5958
ウエンブレー新百合ケ丘店	TEL.044-965-4411 FAX.044-965-4224
ミノヤスポーツ	TEL.03-3652-1505 FAX.03-3652-1506
RBTイチムラ	TEL.03-3683-2963 FAX.03-5609-2963
ラケットショップフジ国分寺店	TEL.042-322-5626 FAX.042-324-9555
ラケットショップフジ吉祥寺店	TEL.0422-22-8844 FAX.0422-21-4617
ラケットショップフジ所沢店	TEL & FAX.042-928-0288
ラケットショップフジ町田店	TEL.042-723-9555 FAX.042-723-8268
ラケットショップフジ八王子店	TEL & FAX.0426-23-5191
ラケットショップフジ川崎店	TEL.044-541-9555 FAX.044-541-9558
ラケットショップフジ静岡店	TEL & FAX.0559-29-9666
ラケットショップフジ川越店	TEL & FAX.049-223-7444
ラケットショップフジ立川店	TEL & FAX.042-527-9554
ラケットショップフジ赤羽店	TEL & FAX.03-3900-9554
ラケットショップフジ海老名店	TEL & FAX.046-234-9444
ラケットショップフジ橋本店	TEL & FAX.042-700-9554
ハローダックスポーツ	TEL.045-711-7988 FAX.045-711-7987
ファミリースポーツ足利店	TEL & FAX.0284-72-7024
ファミリースポーツ太田店	TEL & FAX.0276-22-3822
ファミリースポーツ館林店	TEL.0276-75-0543
ファミリースポーツ小山店	TEL & FAX.0285-25-5586
ラケットショップ ミッキー	TEL.027-243-4267 FAX.027-221-7660
ラケットショップRaToBa	TEL.055-287-8988 FAX.055-287-8987
B-WAY甲府	TEL.055-288-8283 FAX.055-288-8284

北信越ブロック

プロショップサイトウスポーツ	TEL.025-223-1959 FAX.025-224-1282
ラケットショップ 富山	TEL & FAX.076-493-2311
スポーツショップ マツダ	TEL.076-278-2848 FAX.076-278-2356
フレンドスポーツ商会	TEL.0776-25-3385 FAX.0776-22-2995
スポーツコバヤシ	TEL.0770-22-0204 FAX.0770-22-7355
マスタカスポーツ 中込店	TEL.0267-62-0707 FAX.0267-63-2169
マスタカスポーツ 佐久平店	TEL.0267-66-7070 FAX.0267-66-7071
スポーツショップ日新	TEL.026-245-0272 FAX.026-245-2559

近畿ブロック

プロショップシャトル	TEL & FAX.077-568-0585
ラケットショップイチムラ大津	TEL & FAX.077-521-1964
B-WAY太秦店	TEL.075-882-2799 FAX.075-882-2988
B-WAY宇治店	TEL.0774-21-5850 FAX.0774-21-6087
B-WAY長岡京店	TEL.075-951-9955 FAX.075-951-9966
B-WAY桃山店	TEL.075-604-2234 FAX.075-604-2244
B-WAY弁天町店	TEL.06-6599-2000 FAX.06-6599-2001
ラケットショップイチムラ	TEL.075-841-6018 FAX.075-811-1953
スポーツサンメイト	TEL.072-286-6668 FAX.072-286-6667
ワンステップスポーツ	TEL & FAX.0744-47-3395

四国ブロック

イツキスポーツ	TEL & FAX.088-654-0353
プレイヤーズクラブ	TEL.087-835-2033 FAX.087-835-2045
ラケットショップハマナカ松山店	TEL.089-933-2366 FAX.089-932-2241
ラケットショップハマナカ新居浜店	TEL & FAX.0897-34-9191
スポーツショップフットワーク	TEL.088-832-8939 FAX.088-832-8940

東海ブロック

ラケットショップ ノナカ	TEL.052-741-3757 FAX.052-741-3901
オノダスポーツ	TEL.0544-26-3644 FAX.0544-26-0045
エバーラケット	TEL & FAX.0596-29-0600
バドミントンショップ山田研究所	TEL.059-361-7720 FAX.059-361-7721

中国ブロック

フタバスポーツ	TEL.0859-44-5171 FAX.0859-44-4852
ラケットショップFUTABA	TEL.0859-38-5171 FAX.0859-38-4852
ラケットショップ ほしの	TEL & FAX.0852-28-5454
トッププロスポーツ岡山店	TEL.086-254-3419 FAX.086-254-3491
トッププロスポーツ西大寺店	TEL & FAX.086-943-9002
杉山スポーツ	TEL.082-263-3939 FAX.082-262-0790
ムネスエスポーツ	TEL.0833-41-0273 FAX.0833-44-2256
西広島スポーツ 本店	TEL.082-271-7211 FAX.082-271-0888
西広島スポーツ 段原店	TEL.082-256-5567 FAX.082-256-5568
西広島スポーツ 外商部	TEL.082-296-5655 FAX.082-296-6665

九州ブロック

スポーツ あいしん	TEL.090-3417-2162FAX.092-328-3305
運動員屋	TEL.093-452-0111 FAX.093-452-0112
SSSスリーエス	TEL & FAX.092-671-1124
体育堂ラケットワークスWaiWai	TEL & FAX.096-326-8132
スポーツショップバード	TEL & FAX.099-226-8778
ラケットショッププロエース鹿児島本店	TEL & FAX.099-226-6362
ラケットショッププロエース福岡店	TEL & FAX.092-852-7250
ラケットショッププロエース長崎店	TEL & FAX.095-832-8069
グリーンスポーツ	TEL.0956-31-0373 FAX.0956-31-7288
片岡スポーツ	TEL.0957-54-3725 FAX.0957-53-6254

出場予定選手
List Of Competitors

MEN男子

CHINA 中国

CHEN Long	チェン・ロン	譚龍	MS
DU Pengyu	ドゥ・ペンユー	杜鵬宇	MS
WANG Zhengming	ワン・ツェンミン	王諍茗	MS
GAO Huan	ガオ・ファン	高欢	MS
CHEN Yuekun	チェン・ユェクン	陳跃坤	MS
CAI Yun	カイ・ユン	蔡贇	MD
FU Haifeng	フ・ハイファン	傅海峰	MD
CHAI Biao	チャイ・ビャオ	柴鑣	MD
ZHANG Nan	ツァン・ナン	張楠	MD
SHEN Ye	シェン・イー	沈燁	MD、XD
HONG Wei	ホン・ウェイ	洪煒	MD
LIU Xiaolong	リュウ・シャオロン	劉小龍	MD
QIU Zihan	チウ・ジーハン	邱子韓	MD、XD
TAO Jiaming	タオ・ジャーミン	陶嘉明	XD

DENMARK デンマーク

Peter Hoegh GADE	ピーター・ゲード	MS
Jan O. JORGENSEN	ヤン・ヨルゲンセン	MS
Hans-Kristian VITTINGHUS	ハンス・クリスチャン・ヴィッティンフス	MS
Viktor AXELSEN	ヴィクター・アクセルセン	MS
Mathias BOE	マシアス・ボー	MD
Carsten MOGENSEN	カールステン・モゲンセン	MD
Mads CONRAD-PETERSEN	マッズ・コンラド・ピーターセン	MD
Rasmus BONDE	ラスムス・ボンド	MD
Anders KRISTIANSEN	アンダース・クリスチャンセン	XD

ENGLAND イングランド

Rajiv OUSEPH	ラジブ・オーセフ	MS
Andrew SMITH	アンドリュー・スミス	MS
Chris ADCOCK	クリス・アドコック	MD
Andrew ELLIS	アンドリュー・エリス	MD

FRANCE フランス

Brice LEVERDEZ	ブリース・レヴェルデズ	MS

HONG KONG ホンコンチャイナ

WONG Wing Ki	ワン・ウィンキ	黃永棋	MS
HU Yun	フー・ユン	胡賡	MS
CHAN Yan Kit	チャン・ヤンキット	陳仁傑	MS

INDIA インド

Kashyap PARUPALLI	カシャプ・パルパリ		MS
Ajay JAYARAM	アジャイ・ジャヤラム		MS
Gurusaidutt R. M. V.	グルサイダット・R. M. V.		MS
Anand PAWAR	アナンド・パワール		MS
Akshay DEWALKAR	アクシャイ・デウォーカル		MD
Pranaav Jerry CHOPRA	プラナーヴ・ジェリー・チョプラ		MD
Tarun KONA	タルン・コナ		MD、XD
Arun VISHNU	アルン・ヴィシュヌ		MD

INDONESIA インドネシア

Taufik HIDAYAT	タウフィック・ヒダヤット		MS
Simon SANTOSO	シモン・サントソ		MS
Sony Dwi KUNCORO	ソニ・ドゥイ・クンチョロ		MS
Hendra Aprida GUNAWAN	ヘンドラ・アプリダ・グナワン		MD
Yonathan Suryatama DASUKI	ヨナサン・スリャタマ・ダスキ		MD
Markis KIDO	マルキス・キドー		MD
Alvent Yulianto CHANDRA	アルベン・ユリアント・チャンドラ		MD
RIJAL Muhammad	ムハンマド・リジャル		XD

KOREA 韓国

HONG Ji Hoon	ホン・ジフン	洪智勳	MS
LEE Sang Joon	イ・サンジュン	李相俊	MD
KANG Ji Wook	カン・ジウク	姜志旭	MD、XD
KIM Ki Jung	キム・キジュン	金基正	MD
KIM Sa Rang	キム・サラン	金サラン	MD、XD

MALAYSIA マレーシア

LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	MS
LIEW Daren	リュウ・ダレン	MS
CHONG Wei Feng	チョン・ウェイフェン	MS
ZULKIFFLI Zulfadli	ズルファドリ・ズルキッフリ	MS
KOO Kien Keat	クー・ケンケット	MD
TAN Boon Heong	タン・ブンホン	MD
LIM Khim Wah	リム・キムワー	MD
GOH Wei Shem	ゴー・ウェイシェム	MD
HOON Thien How	フン・ティエンホー	MD
TAN Wee Kiong	タン・ウィーキョン	MD、XD
CHAN Peng Soon	チャン・ペンスン	XD
TAN Aik Quan	タン・アイクァン	XD

PHILIPPINES フィリピン

Peter Gabriel MAGNAYE	ピーター・ガブリエル・マグナイェ	MD
Philip Joper ESCUETA	フィリップ・ジョパー・エスキュータ	MD
Ronel ESTANISLAO	ロネル・エスタニスラオ	MD
Paul Jefferson VIVAS	ポール・ジェファーソン・ヴィヴァス	MD

SINGAPORE シンガポール

CHEN Yong Zhao Ashton	チェン・ヨンツァオ・アシュトン	MS、MD
WONG Zi Liang Derek	ウォン・ジーリャン・デレック	MS、MD

THAILAND タイ

Boonsak PONSANA	ブーンサック・ポンサナ	MS
Tanongsak SAENSOMBOONSUK	タノンサック・サエンソンボーンスク	MS
Suppanyu AVIHINGSANON	スッパンユ・アヴィヒングサノン	MS
Poodchalat PISIT	プードチャラット・ピシット	MS
Maneepong JONGJIT	マニーポン・ジョングジット	MD、XD
Bodin ISSARA	ボディン・イサラ	MD
Patipat CHALARDCHALEAM	パティパット・チャラドチャレアム	MD、XD
Nipitphon PUANGPUAPECH	ニピットフォン・パウングアプペシュ	MD、XD
Songphon ANUGRITAYAWON	ソンフォン・アヌグリタヤウォン	XD

CHINESE TAIPEI チャイニーズ・タイペイ

CHOU Tien Chen	チョウ・ティエンチェン	周天成	MS
HSU Jen Hao	シュー・ジェンハオ	許仁豪	MS
LU Chia Bin	ル・チャービン	呂佳彬	MD、XD
CHEN Hung Ling	チェン・フンリン	陳宏麟	MD、XD
LIANG Jui Wei	リャン・ジュイウェイ	梁睿緯	MD
LIAO Kuan Hao	リャオ・クアンハオ	廖冠皓	MD
LIN Yen Jui	リン・イェンジュィ	林彥睿	MD
CHEN Chung Jen	チェン・チュンジェン	陳中仁	MD

USA アメリカ

Sattawat PONGNAIRAT	サッタワット・ポングナイラット		MS、MD
LEE Hock Lai	リー・ホックライ		MS、XD
Agusriadi Wijaya AMPHIE	アグスリアディ・ウィジャヤ・アンフィ		MS、XD
Philip CHEW	フィリップ・チュウ		MD、XD

VIETNAM ベトナム

Tien Minh NGUYEN	グエン・ティエンミン	MS

JAPAN 日本

佐々木　翔	SASAKI Sho	トナミ運輸	MS
田児　賢一	TAGO Kenichi	NTT東日本	MS
上田　拓馬	UEDA Takuma	日本ユニシス	MS
武下　利一	TAKESHITA Riichi	トナミ運輸	MS
和田　周	WADA Shu	日本体育大4年	MS
桃田　賢斗	MOMOTA Kento	富岡高3年	MS
佐藤　翔治	SATO Shoji	NTT東日本	MD、XD
川前　直樹	KAWAMAE Naoki	NTT東日本	MD
平田　典靖	HIRATA Noriyasu	トナミ運輸	MD、XD
橋本　博且	HASHIMOTO Hirokatsu	トナミ運輸	MD
早川　賢一	HAYAKAWA Kenichi	日本ユニシス	MD、XD
遠藤　大由	ENDO Hiroyuki	日本ユニシス	MD
池田信太郎	IKEDA Shintaro	日本ユニシス	XD
坂井　一将	SAKAI Kazumasa	日本ユニシス	MS
銭谷　翔	ZENIYA Sho	トナミ運輸	MS
渡邊　達哉	WATANABE Tatsuya	日本体育大3年	MS
古賀　輝	KOGA Akira	早稲田大1年	MS、MD
金子　祐樹	KANEKO Yuki	埼玉栄高3年	MS、MD
井上　拓斗	INOUE Takuto	埼玉栄高3年	MS、MD
竹内　宏気	TAKEUCHI Hiroki	NTT東日本	MS
園田　啓悟	SONODA Keigo	トナミ運輸	MD、XD
嘉村　健士	KAMURA Takeshi	トナミ運輸	MD、XD
佐伯　祐行	SAEKI Hiroyuki	日本ユニシス	MD
垰畑　亮太	TAOHATA Ryota	日本ユニシス	MD、XD
星野　翔平	HOSHINO Shohei	日本体育大3年	MD、XD
小林　晃	KOBAYASHI Akira	日本体育大3年	MD、XD
齋藤　太一	SAITO Taichi	早稲田大1年	MD

WOMEN女子

AUSTRIA オーストリア

Simone PRUTSCH	シモーネ・ポーチュ	WS

CANADA カナダ

Charmaine REID	シャーマイン・リード	WS、WD
Nicole GRETHER	ニコール・グレター	WS、WD

CHINA 中国

WANG Shixian	ワン・シーシャン	王適嫻	WS
JIANG Yanjiao	ジァン・ヤンジァオ	蔣燕皎	WS
CHEN Xiao Jia	チェン・シャオジャ	陳暁佳	WS
WANG Lin	ワン・リン	王琳	WS
HAN Li	ハン・リー	韓利	WS
BAO Yixin	バオ・イーシン	包宜鑫	WD、XD
ZHONG Qianxin	ツォン・チャンシン	鐘倩欣	WD
TANG Jinhua	タン・ジンファ	湯金華	WD、XD
XIA Huan	シャ・ファン	夏欢	WD
CHENG Shu	チェン・シュー	成淑	WD
LUO Yu	ルオ・ユー	駱羽	WD、XD

DENMARK デンマーク

Tine BAUN	ティーネ・バウン	WS
Julie HOUMANN	ユリー・ホーマン	XD

HONG KONG ホンコンチャイナ

YIP Pui Yin	イップ・プイイン	葉佩延	WS
CHAN Tsz Ka	チャン・ツーカ	陳社嘉	WS
POON Lok Yan	プーン・ロックヤン	潘楽恩	WD
TSE Ying Suet	ツェ・インスェット	謝影雪	WD

INDIA インド

Sindhu P. V.	シンデュ・P.V	WS
Ashwini PONNAPPA	アシュウィニ・ポンナッパ	XD

INDONESIA インドネシア

Liliyana NATSIR	リリアナ・ナッチル	XD

KOREA 韓国

BAE Youn Joo	ペ・ヨンジュ	裵延珠	WS
SUNG Ji Hyun	スン・ジヒュン	成池鉉	WS
JANG Ye Na	ジャン・イェナ	張藝娜	WD、XD
EOM Hye Won	イム・ヘウォン	嚴恵媛	WD
KIM So Young	キム・ソヨン	金昭映	WD、XD
CHOI Hye In	チェ・ヘイン	崔惠仁	WD

MALYSIA マレーシア

TEE Jing Yi	ティ・ジンイ	WS
CHEAH Lydia Li Ya	チェア・リディア・リヤ	WS
SANIRU Sannatasah	サニル・サンナタサー	WS
NG Hui Lin	ン・フイリン	WD、XD
NG Hui Ern	ン・フイアン	WD
GOH Liu Ying	ゴー・リューイン	XD
LAI Pei Jing	ライ・ペイジン	XD

SINGAPORE シンガポール

FU Mingtian	フー・ミンティアン	傅明天	WS
GU Juan	グー・ジュアン	顧娟	WS

THAILAND タイ

Ratchanok INTANON	ラトチャノク・インタノン	WS
Porntip BURANAPRASERTSUK	ポルンティップ・ブラナプラサットスク	WS
Sapsiree TAERATTANACHAI	サプシリー・タエラッタナチャイ	WS、WD
Nichaon JINDAPON	ニチャオン・ジンダポル	WS
Busanan ONGBUMRUNGPAN	ブサナン・オングブンルングパン	WS
Duang-Anong AROONKESORN	ドゥアン・アノン・アルンケソーン	WD
Kunchala VORAVICHITCHAIKUL	クンチャラ・ウォラウイチツアイクル	WD、XD
Savitree AMITAPAI	サヴィトゥリー・アミタパイ	WD、XD
Saralee THOUNGTHONGKAM	サラリー・トゥントーンカム	WD
Jongkonphan KITTIHARAKUL	ジョングコンファン・キッティハラクル	WD、XD
Rodjana CHUTHABUNDITKUL	ロジャナ・チュタブンディックル	WD、XD

CHINESE TAIPEI チャイニーズ・タイペイ

TAI Tzu Ying	タイ・ツーイン	戴資穎	WS
PAI Hsiao Ma	パイ・シャオマ	白曉馬	WS
WU Ti Jung	ウー・ティジュン	吳均蓉	WD、XD
SHUAI Pei Ling	シュアイ・ペイリン	帥佩伶	WD、XD

USA アメリカ

Jamie SUBANDHI	ジェミー・スバンディ		WS、XD
Priscilla LUN	プリシラ・ルン		WS、XD
Paula Lynn OBANANA	パウラ・リン・オバナナ		WD
Eva LEE	エヴァ・リー		WD、XD

JAPAN 日本

後藤　愛	GOTO Ai	NTT東日本	WS
廣瀬栄理子	HIROSE Eriko	パナソニック	WS
今別府香里	IMABEPPU Kaori	パナソニック	WS
三谷美菜津	MITANI Minatsu	ＮＴＴ東日本	WS
奥原　希望	OKUHARA Nozomi	大宮東高3年	WS
藤井　瑞希	FUJII Mizuki	ルネサス	WD
垣岩　令佳	KAKIIWA Reika	ルネサス	WD
末綱　聡子	SUETSUNA Satoko	ルネサス	WD
前田　美順	MAEDA Miyuki	ルネサス	WD、XD
松尾　静香	MATSUO Shizuka	パナソニック	WD、XD
内藤　真実	NAITO Mami	パナソニック	WD
髙橋　礼華	TAKAHASHI Ayaka	日本ユニシス	WD、XD
松友美佐紀	MATSUTOMO Misaki	日本ユニシス	WD、XD
瀬田　玲子	SHIOTA Reiko	日本ユニシス	XD
髙橋沙也加	TAKAHASHI Sayaka	パナソニック	WS
打田しづか	UCHIDA Shizuka	日本ユニシス	WS
橋本　由衣	HASHIMOTO Yui	NTT東日本	WS
福万　尚子	FUKUMAN Naoko	パナソニック	WS、WD
與猶くるみ	YONAO Kurumi	パナソニック	WS、WD
大堀　彩	OHORI Aya	富岡高1年	WS、WD
山口　茜	YAMAGUCHI Akane	勝山南部中3年	WS、WD
福島　由紀	FUKUSHIMA Yuki	ルネサス	WS、WD
玉木絵里子	TAMAKI Eriko	早稲田大4年	WS
三木佑里子	MIKI Yuriko	パナソニック	WD、XD
米元　小春	YONEMOTO Koharu	パナソニック	WD、XD
久後あすみ	KUGO Asumi	ルネサス	WD、XD
横山めぐみ	YOKOYAMA Megumi	ルネサス	WD、XD



対応力「3I」

inspiration
インスピレーション
ひらめき

imagination
イマジネーション
イメージ

innovation
イノベーション
革新

頑張る人が大好きです。
応援します、頑張る人！

http://www.rsfuji.co.jp/

日本バドミントン専門店会

●日本バドミントン専門店会に加盟しているショップは、安心してお買物が出来るしるしです。バドミントンに関することなら、どんなことでもお気軽にお尋ね下さい。バドミントンのエキスパートがいるお店です。当店は日本バドミントン専門店会加盟店です。

●ラケット保険
当店独自の保険です。ラケットの全損・折損を保証させて頂きます。
これで安心!おもいきりプレーに専念して下さい。

●新グリーンカード
当店でお買物現金¥500ごと(クレジット使用は¥1,000)にスタンプを押印させて頂くカードです。スタンプ30個以上で商品券として自由に使用できます。最大換金率6.25%！

大会、応援します。
●当店は、各地区のどんな小さな大会でも応援します。なんでもお気軽にご相談下さい。スタッフ一同お待ちしております。

●クラブ単位での訪問販売とレッスン・コーチも行っております。詳しくは各店又はホームページでおたずね下さい。

プレイ仲間が集う場所 **BADMINTON Pro Shop**

RACKET SHOP FUJI

モバイルサイトはこちら
メール会員募集中

■国分寺店■ TEL 042-322-5626
至立川 国分寺 至新宿 みずほ銀行

■吉祥寺店■ TEL 0422-22-8844
東急 マクドナルド ロヂャース 薬屋 三菱東京UFJ銀行 パルコ 吉祥寺駅 至新宿 至渋谷 至立川

■所沢店■ TEL 04-2928-0288
至西武球場 至東村山 ダイエー 西友 所沢 至新宿 至本川越

■町田店■ TEL 042-723-9555
町田 至新宿 郵便局 文教 長崎屋A館 長崎屋B館 町田街道 セブンイレブン サンクス 至東神奈川

■八王子店■ TEL 042-623-5191
八王子 至高尾 至吉祥寺 あゆみ書房 至富士森公園 サンホテル

■川崎店■ TEL 044-541-9555
ラゾーナ川崎プラザ JR川崎駅 川崎西口大通り ミューザ川崎

■静岡店■ TEL 055-929-9666
市民体育館 イトーヨーカドー マキヤ キラメッセ沼津 至富士 沼津駅 至三島

■川越店■ TEL 049-223-7444
セブンイレブン モディ アトレ 至川越 至本川越

■立川店■ TEL 042-527-9554
至高尾 立川 南口 JR中央線 東武線 至三鷹 クレストホテル たちかわみなみ 多摩都市モノレール 駐車

■赤羽店■ TEL 03-3900-9554
至大宮 赤羽駅 西口 至新宿 JR京浜東北線 ビビオ イトーヨーカドー 赤羽郵便局

■海老名店■ TEL 046-234-9444
ローソン 相模鉄道本線 STEP 中央公園

■橋本店■ TEL 042-700-9554
橋本SATY サイゼリア 至多摩境 ローソン 北口 ミウィ橋本 JR横浜線 橋本 至八王子 至町田

大会役員
Officers

ヨネックスオープンジャパン2012オフィシャル

大会役員

大会会長 PRESIDENT	綿貫民輔	Tamisuke Watanuki			
大会名誉顧問	石原慎太郎	Shintaro Ishihara			
	米山宏作	Kosaku Yoneyama			
大会副会長 VICE PRESIDENTS	三宅祐司	Yuji Miyake			
	籾井勝人	Katsuto Momii			
	浅岡 武	Takeshi Asaoka			
	米山 勉	Ben Yoneyama			
大会顧問	森 喜朗	関谷勝嗣	森田 一	林 芳正	村上忠治
	八木橋伸夫	佐藤 保	塩川 甫	橋本角市	権田正一
	植田博宣	原二三雄	清水規矩雄	平田登志郎	青木昭二
	毛利清志	内多小五郎	小宮淳宏	吹田修一	牧野 武
	村山幸雄	戸田清一	濱中 誠	福岡幸一	伊豆 晃
	岡本武利	本郷節生	今北基夫	菊地利明	野村嘉明
	里見光徳	山根 怜	佐藤芳朗	竹林克彦	油井秀男
	木村 寛	遠井稔男	岡村英男	川島一郎	板垣隆房
	星野忠男	藤本 滋	藤原和文	宮永武司	根岸知子
	實吉幹夫				
大会参与	加藤寛治	原 紀征	鈴木勝之	藤原 航	真壁幹雄
	築地孝彦	三井 裕	濱中 勉	組村 明	福井正康
	杉山郁郎	前田耕作	三須得司	荻田 實	関 敏夫
	小林健二	太田耕貴	森谷喜久男	栗田光憲	菅原幸雄
	水上英二				
大会委員長 CHAIRMAN	関根義雄	Yoshio Sekine			
大会副委員長 VICE CHAIRMANS	千葉健夫	Tateo Chiba			
大会委員	阿部秀夫	今井茂満	河崎正紀	河野幸男	神戸 照
	木戸純一	佐竹養一	銭谷欽治	高橋英夫	中山紀子
	西村健二	能登則男	野村安忠	村元英美	山田順一郎
	福田 武	浅岡 武	上原信彦	鈴木利雄	今来サキ
	兒嶋 昇	殿川宣勝	竹内ヒロ子	實吉幹夫	宮路秀憲
	辻澤康弘	横山 登	石森敏男	山中達雄	池田公子
	鏑木興司	椚木莉紗	藤井弘行	保田秀行	上田敏之
	吉田 繁	笹林義春	白鳥 卓	島 朝樹	落合久夫
	彌永正信	山城譲治	須田和裕	佐藤 隆	森 麗子
	関口順久	澤井秀和	町田昌敏		

世界バドミントン連盟 BADMINTON WORLD FEDERATION

PRESIDENT	Dr Kang Young Joong
DEPUTY PRESIDENT	Paisan Rangsikitpho
VICE PRESIDENTS	Torsten Berg Liu Fengyan Gustavo Fernando Salazar Delgado Raj Gaya Nigel Skelt Gregory Verpoorten Paul Kurzo
COUNCIL MEMBERS	David Cabello / Peter M Gacheru Lim Teong Kiat / Etienne Thobois Lawrence Chew / Ranjit de Silva Mehdi Karbasian / Li Lingwei Nora Perry / Sergey Sharkray Wayne Somers / Surasak Songvarakulpan Justian Suhandinata / Peter Tarcala Wu Jun-Yan / Kaveh Mehrabi Junichiro Yamada

大会運営委員 TOURNAMENT COMMITTIEES

運営委員長 CHAIRMAN	関根義雄	Yoshio Sekine
運営副委員長 VICE CHAIRMAN	千葉健夫	Tateo Chiba
	林田草樹	Kusaki Hayashida
	高橋英夫	Hideo Takahashi
委員 STAFF MEMBERS	今井茂満	Shigemitsu Imai
	銭谷欽治	Kinji Zeniya
	山田順一郎	Junichiro Yamada
	丹藤勇一	Yuichi Tando
	柴崎雅司	Masashi Shibazaki
	金子幸也	Yukinari Kaneko
	兼坂省一	Shoichi Kanesaka
	善辰一朗	Shinichiro Zen
	軍司和久	Kazuhisa Gunji
レフェリー Referee	Mojimir Hnilica	
デピュティレフェリー Deputy Referee	高橋英夫	Hideo Takahashi
アシスタントレフェリー Assistant Referee	三王知治	Tomoharu Sano
アンパイア&ラインジャッジコーディネーター Umpire&Line Judge Coordinator	宮路秀憲	Hidenori Miyaji
スポンサー窓口 Sponsors' Representatives	金子幸也	Yukinari Kaneko
	兼坂省一	Shoichi Kanesaka
	大森一正	Kazumasa Ohmori
	中村英之	Hideyuki Nakamura
	善辰一朗	Shinichiro Zen
	軍司和久	Kazuhisa Gunji

実行委員会競技役員

総括	千葉健夫					
副総括	今来サキ					
総務担当	竹内ヒロ子	辻澤康弘	石森敏男	山中達雄	池田公子	椚木莉紗
	藤井弘行					
総務	大川孝尤	木村昭義	山口高司	安藤武夫	村田 香	柳 敬三
	麻生了輔	奥村 優	川杉通昌	橋口 誠	露木博保	加藤 孝
	善如寺日雄	土田証雄	大塚敏之	木村芙美子	遠田マチ子	目黒克彦
	山川宏治	菊池泰次郎	河内準治	奥山勝実	福島美記子	松村美智子
	佐野玲子	森 麗子	小庭洋子	塚田敦子	伊藤ちはる	岡村敦子
	松尾智子	宮本はるみ	田中トミ	高橋公子	小林清美	大関萬里子
	森本浩子	児玉 愛	神野裕子	中澤悦子	渡辺瑠美子	西野仁子
	高橋史枝	清水純子	笠井恭子	小松崎喜美枝	松澤典子	田中美千代
	桑山栄子	馬場陽子	池尻厚子	塩崎正枝	坂本和子	木原秀子
	塚本敬子	小堂順子	関根山幸子	西村はる恵	水谷弘恵	須田美由喜
	高崎朋子	土屋展子	堀池由紀子	鈴木理恵	島崎朋子	深見妙子
	中村恒子	原田貴子	西城真理子	坂本 郁	工藤なおみ	橋村陽子
	佐藤 綾	南雲亜紀	松本竜典	鈴木真知子	鶴田雅子	菅家佐智子
	本多修治	福士みどり	阿由葉純代	西 祐子		
練習会場	鈴木利雄	中川明文	斉藤晶子	礒見美和	神千恵美	高倉町子
	山田良枝	佐藤佳津美	岩崎修二	国府田春美	織田啓子	佐々木洋子
財務	佐藤 隆	鏑木興司	大平ヒサ			
広報担当	殿川宣勝	彌永正信	山城譲治	須田和裕		
広報	浅見 勇	近藤 繁	三角清一	加藤晋一	岩崎良彦	本田裕士
	金丸清昭	山本洋彦	鮑 智行	李 順姫		
競技担当	横山 登	笹林義春	白鳥 卓			
競技	近岡 昭	稲村 昇	多田晃一	小川裕介	内村 実	山田ミヨ子
	若林孝子	目黒仁一	小林三男	山縣義文	中村大喜	高田 浩
	折笠聖崇	御山好夫	江連秀敏	加藤浩之	仲川敏幸	望月清治郎
	山本義正	戸坂恵美子	小沼勇次	小川正代	山崎清一	遠山由貴江
	桜田豊治	山崎友昭	桑原和夫	坂本智香子	宇田川孝	久保田剛
	鏡 栄三	森本章稔	加藤 孝	八幡省吾	中浜拳社	真野雄貴
	細川佑人	田村浩之	卯木彩乃	佐藤美由貴	佐野元秀	鷲尾友樹
式典担当	吉田 繁	落合久夫	島 朝樹			
選手担当	兒嶋 昇	中村憲尚	村田千尋	大友 累	渡会菜々	降旗恵美
	佐藤由希子	海永光洋	衣斐恭介	宇仁あさひ	荻本理紗	萩本 萌
	加藤太治	梶尾知信	神尾 諭	須崎 賢	渡部和玄	岩沢僚斗
	野村隆之介	落合太一	野田翔子	前田裕斗		
放送	伊藤奈穂子	高野直子	高野聡子	高井あおい		
審判担当	宮路秀憲	保田秀行				
国際審判	Kraising Thoungtub	Fine C.Dathan	Cornelia Schroeder	Yogen Bhatnagar		
	Liu Yun	Kim Kang Hyun	Kang Sun Young	Teoh Gim Beng		
	Wang Chao Wei	遠井 努	斎藤篤司	野々口栄二		
	上田敏之	笠原英知	上野 誠	伊藤寿美子		
	岩下真志郎	坂本恵美				
審判員	沼田昭子	樋地正秀	原 正人	中野正一	青木康敏	千葉 毅
	前川 正	坂巻敦子	岩崎和実	鈴木英昭	野村チエ子	山田律子
	小守一枝	日野秀子	高木 実	菅野英美	岡田時彦	益頭和雄
	荒谷勝造	金森洋介	柳沢小夜子	矢野節子	大塚真弓	原山真理子
	桐生義宏	桐生里美	増田智恵	佐藤政行	野津山恵美子	家財留美
	赤川正子	藤崎靖子	永田紀代枝	横山朱美	草刈 学	鈴木和子
	杉本宏子	中川敬子	飯野洋子	菅原弘子	木村明美	松本有実
	清水享子	蟷螂野美幸	高橋恭子	奈良部美佐枝	片野万里	石川久美
	山田祐子	秋山昭子	須見ひとみ	小野寺裕子	福田弥生	大沢恵子
	井上つや子	西山智音	渡邊春男	伊草幸子	安藤明美	岡島ちり子
	五十畑利枝	米山千鶴子	山中恵美子	吉市貞子	中條博美	関口雅治
	森原義博	工藤史子	工藤弘明	浅倉光隆	関 昭	平岩陽子
	菊池とよ子	依田文宏	藤田法子	小泉和子	平田京子	塩澤はるみ
	塚原美津子	香取由美子	藤田信子	木谷雅子	秋林江梨子	小林和代
	江澤曜子	平井牧子	萩原勝一	新井雄一	鳥越俊秀	岡部啓子
	平山孝志	星 和実	菅野輝美	福田聡子	奈良部年子	藤井真理
	高増道子	横川明弘	鮎川美香	瀬沼 誠	橋 篤志	加瀬 恵
	中村三男	伊藤成子	中林和男	渡辺美鈴	大島俊也	横田和長
	三田恵子	山口律子	滝川洋美	伊藤惣子	齋藤理恵子	三本木祐子
	佐藤恵美子	百野郁子	神田義雄	小形 治	大谷恵美子	涌井江以子
	土谷玲子	市川澄江	河原伸吉	木村勝子		
救護	小林總介	髙田 寿	渡辺啓太	島崎祐子	神尾怜奈	渡辺陽向
	セーボレー悦子					

ヨネックスオープンジャパン 歴代優勝者

List Of Winners 1982-2011

1982 兵庫県神戸市

MS	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Kartono	カルトノ	インドネシア
	R.Heryanto	ルディ・ヘリヤント	
WD	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド
	Jane WEBSTER	ジェーン・ウェブスター	
XD	Michael TREDGETT	マイケル・トレジェット	イングランド
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	

1983 神奈川県横浜市

MS	HAN Jian	韓　健	中国
WS	HAN Aiping	韓愛平	中国
MD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Stefan KARLSSON	ステファン・カールソン	
WD	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	イングランド
	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	
XD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド

1984 東京都

MS	Morten FROST	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	ZHENG Yuli	鄭昱鯉	中国
MD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Stefan KARLSSON	ステファン・カールソン	
WD	Karen BECKMAN	カレン・ベックマン	イングランド
	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	
XD	Martin DEW	マーチン・デュー	イングランド
	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	

1985 東京都・群馬県桐生市

MS	ZHAO Jianhua	趙剣華	中国
WS	WU Jianqiu	呉健秋	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	KIM Yun Ja	金綸子	韓国
	YOO Sang Hee	柳尚希	
XD	Billy GILLILAND	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Gillian GOWERS	ジリアン・ゴワーズ	イングランド

1986 東京都・群馬県桐生市

MS	YANG Yang	楊　陽	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Razif SIDEK	ラジフ・シデク	マレーシア
	Jalani SIDEK	ジャラニ・シデク	
WD	WU Dixi	呉迪西	中国
	LIN Ying	林　瑛	
XD	Billy GILLILAND	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド

1987 大阪府守口市

MS	XIONG Guobao	熊国宝	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Liem SWIE KING	リム・スイ・キン	インドネシア
	Eddy HARTONO	エディ・ハルトノ	
WD	LIN Ying	林　瑛	中国
	GUAN Weizhen	関渭貞	
XD	LEE Deuck Choon	李得春	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1988 東京都・群馬県桐生市

MS	Nick YATES	ニック・イエーツ	イングランド
WS	HAN Aiping	韓愛平	中国
MD	TIAN Bingyi	田秉毅	中国
	LI Yongbo	李永波	
WD	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	韓国
	CHUNG So Young	鄭素英	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1989 東京都

MS	YANG Yang	楊　陽	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	LEE Son Bok	李相福	
WD	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	イングランド
	Jilie MUNDY	ジリー・ムンディー	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1990 東京都

MS	Morten FROST	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	HUANG Hua	黄　華	韓国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	YAO Fen	姚　芬	中国
	LAI Caiqin	頼彩勤	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1991 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	HUANG Hua	黄　華	韓国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	イングランド
	Gillian GOWERS	ジリアン・ゴワーズ	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1992 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi SUSANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	CHEN Kang	陳　康	中国
	CHEN Hongyong	陳紅勇	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	HWANG Hye Young	黄恵英	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Pemille DUPONT	ペミール・デュポン	

1993 東京都

MS	Haryanto ARBI	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	YE Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	CHEN Kang	陳　康	中国
	CHEN Hongyong	陳紅勇	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	GIL Young Ah	吉永雅	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Catrine BENGTSSON	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1994 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi SUSANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Deny KANTONO	デニー・カントノ	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	GIL Young Ah	吉永雅	
XD	Jon HOLST-CHRISTENSEN	ヨン・ホルスト・クリステンセン	デンマーク
	Catrine BENGTSSON	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1995 東京都

MS	Haryanto ARBI	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	Susi SUSANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Marlene THOMSEN	マーレーン・トムセン	

1996 東京都

MS	Joko SUPRIANTO	ジョコ・スプリアント	インドネシア
WS	YE Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GIL Young Ah	吉永雅	韓国
	JANG Hye Ock	張恵玉	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	RA Kyung Min	羅景民	

1997 東京都

MS	Peter RASMUSSEN	ピーター・ラスムセン	デンマーク
WS	Mia AUDINA	ミア・アウディナ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

1998 東京都

MS	Peter GADE	ピーター・ゲード	デンマーク
WS	GONG Zhichao	龔智超	中国
MD	CHEAH Soon Kit	チー・スーンキット	マレーシア
	YAP Kim Hock	ヤップ・キムホック	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	KIM Dong Moon	金東文	韓国
	RA Kyung Min	羅景民	

1999 東京都

MS	Peter GADE	ピーター・ゲード	デンマーク
WS	YE Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	HA Tae Kwon	河泰権	韓国
	KIM Dong Moon	金東文	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

2000 東京都

MS	JI Xinpeng	吉新鵬	中国
WS	GONG Zhichao	龔智超	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	
WD	HUANG Nanyan	黄楠雁	中国
	YANG Wei	楊　維	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

2001 東京都

MS	Roslin HASHIM	ロスリン・ハシム	マレーシア
WS	ZHOU Mi	周　蜜	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Sigit BUDIARTO	シギット・ブディアルト	
WD	GAO Ling	高　嶺	中国
	HUANG Sui	黄　穂	
XD	Bambang SUPRIANTO	バンバン・スプリアント	インドネシア
	Minarti TIMUR	ミナルティ・ティムール	

2002 東京都

MS	LEE Hyun Il	李炫一	韓国
WS	ZHOU Mi	周　蜜	中国
MD	CHAN Chong Ming	チャン・チョンミン	マレーシア
	CHEW Choon Eng	チュー・チューエン	
WD	RA kyung Min	羅景民	韓国
	LEE Kyung Won	李敬元	
XD	KIM Dong Moon	金東文	韓国
	RA kyung Min	羅景民	

2003 東京都

MS	XIA Xuanze	夏煊澤	中国
WS	Camilla MATIN	カミラ・マーチン	デンマーク
MD	Flandi LIMPELE	フランディー・リンペレ	インドネシア
	Eng HIAN	エン・ヒアン	
WD	GAO Ling	高　嶺	中国
	HUANG H Sui	黄　穂	
XD	ZHANG Jun	張　軍	中国
	GAO Ling	高　嶺	

2004 東京都

MS	Ronald SUSIRO	ロナルド・スシロ	シンガポール
WS	Mia AUDINA	ミア・アウディナ	オランダ
MD	HA Tae Kwon	河泰権	韓国
	KIM Dong Moon	金東文	
WD	RA kyung Min	羅景民	韓国
	LEE Kyung Won	李敬元	
XD	Nova WIDIANTO	ノバ・ウディアント	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2005 東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	ZHANG Ning	張　寧	中国
MD	Jens ERIKSEN	イエンス・エリクセン	デンマーク
	Martin LUNDGAARD HANSEN	マーチン・ルンドガード・ハンセン	デンマーク
WD	YANG Wei	楊　維	中国
	ZHANG Jiewen	張潔雯	
XD	Sudket PRAPAKAMOL	スッケー・プラカモル	タイ
	Saralee THUNGTHONGKAM	サラリー・トゥントーンカム	

2006 東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	ZHANG Ning	張　寧	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	アメリカ
WD	GAO Ling	高　嶺	中国
	HUANG H Sui	黄　穂	
XD	Flandi LIMPELE	フランディー・リンペレ	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2007 東京都

MS	LEE Chong wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	Tine RASMUSSEN	ティーネ・ラスムセン	デンマーク
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	アメリカ
WD	YANG Wei	楊　維	中国
	ZHANG Jiewen	張潔雯	
XD	ZHENG Bo	鄭　波	中国
	GAO Ling	高　嶺	

2008 東京都

MS	Sony Dwi KUNCORO	ソニ・ドゥイ・クンチョロ	インドネシア
WS	WANG Yi Han	王儀涵	中国
MD	Lars PAASKE	ラース・パースク	デンマーク
	Jonas RASMUSSEN	ヨナス・ラスムセン	
WD	CHENG Shu	成　淑	中国
	ZHAO Yunlei	趙蕓蕾	
XD	Muhammad RIJAL	ムハンマド・リジャル	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2009 東京都

MS	BAO Chunlai	鮑春来	中国
WS	WANG Yi Han	王儀涵	中国
MD	MARKIS Kido	マルキス・キドー	インドネシア
	HENDRA Setiawan	ヘンドラ・セティアワン	
WD	MA Jin	馬　晋	中国
	WANG Xiaoli	王暁理	
XD	ANUKITAYAWON Songphon	ソンフォン・アヌグリタヤウォン	タイ
	VORAVICHITCHAIKUL Kulchala	クルチャラ・ウォラウイチツアイクル	

2010 東京都

MS	LEE　Chongwei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	JIANG Yanjiao	蔣燕皎	中国
MD	FU Haifeng	傅海峰	中国
	CAI Yun	蔡　贇	
WD	YU Yang	於　洋	中国
	WANG Xiaoli	王暁理	
XD	ZHANG Nan	張　楠	中国
	ZHAO Yunlei	趙蕓蕾	

2011 東京都 WINNER 優勝

MS	CHEN Long	諶　龍	中国
WS	WANG Yi Han	王儀涵	中国
MD	FU Haifeng	傅海峰	中国
	CAI Yun	蔡　贇	
WD	BAO Yixin	包宜鑫	中国
	ZHONG Qianxin	鍾倩欣	
XD	CHEN Hung Ling	陳宏麟	チャイニーズ・タイペイ
	CHENG Wen Hsing	程文欣	

2011 東京都 RUNNER UP 準優勝

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	Juliane SCHENK	ユリアン・シェンク	ドイツ
MD	Bona SEPTANO	ボナ・セプタノ	インドネシア
	Mohammad AHSAN	モハンマド・アーサン	
WD	CHIEN Yu Chin	簡毓瑾	チャイニーズ・タイペイ
	CHENG Wen Hsing	程文欣	
XD	Joachim FISCHER NIELSEN	ヨアキム・フィッシャー・ニールセン	デンマーク
	Christinna PEDERSEN	クリスティナ・ペダーセン	

NTT
東日本



光でかなえたい
未来がある。
NTT東日本

広テ 12-5069 [1208-1303]

おいしさ、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®

選手強化キャンペーン

JAPAN

AJINOMOTO
amino VITAL アミノバイタル

栄養補助食品カテゴリー：粉状・タブレット｜JOCゴールドパートナー

がんばれ!ニッポン!

「アミノバイタル」がチーム「ニッポン」を強くする!

JOC × 味の素KK「ビクトリープロジェクト」

2003年からスタートしたJOC・味の素KK共同の選手強化支援プロジェクト。スポーツ栄養科学に基づき「アミノバイタル®」を活用したコンディショニングに加え、食と栄養のサポートまで行っています。

味の素ナショナルトレーニングセンター※

メダル獲得を目指すトップアスリートが鍛錬を続ける、世界で勝つための総合強化施設「ビクトリープロジェクト」の拠点です。「アミノバイタル®」は、選手たちを強化すると同時に、選手たちの声は、「アミノバイタル®」の製品づくりにも反映されています。

選手たちの効率的な栄養サポートプログラム「勝ち飯」

「勝ち飯」は「強く」「速く」「長く」動くための栄養摂取を「三食」と「補食」で実践。「補食」では「三食」で不足する栄養を、タイミング良く摂取する事が重要。そこでも「アミノバイタル®」は、選手たちに活用されています。

※味の素ナショナルトレーニングセンターは、国立のスポーツ施設として、日本で初めて味の素KKがネーミングライツを取得いたしました。

アミノバイタル　検索

<バドミントン>潮田 玲子（日本ユニシス所属）

<競泳>入江 陵介（近畿大学/イトマンSS所属）

<体操>内村 航平（KONAMI所属）

実感!
amino VITAL®



「アミノバイタル®」プロ
14本入箱



「アミノバイタル®」タブレット
120粒入



「アミノバイタル®」
30本入箱



「アミノバイタル® カプシ®」
21本入箱

スポーツ ニュートリション

世界と戦うカラダへ。「アミノバイタル®」は、スポーツ時に大切なアミノ酸（BCAA＋グルタミン・アルギニンなど）をバランスよく配合。オリンピック日本代表選手の勝利をサポートする「スポーツニュートリション」です。

もっと、動ける、楽しめる。





